

官報

號外

明治二十四年十二月二十三日 水曜日 內閣官報局

○衆議院 第二回 議事速記第二十二號

明治二十四年十二月二十二日(火曜日)午後一時二十三分開議

議事日程 第二十二號 明治二十四年十二月二十二日

午後一時開議

第一 明治七年以後ノ戰役ニ死没シタル軍人軍屬ノ遺父母及祖父母扶助ニ關スル法律案(政府提出)

第二 豫算案

第三 地租條例改正案(鈴木昌司君外一名提出)

第一讀會ノ續

○議長(中島信行君) 諸君ニ報道致シマス

(會場書記官長朗讀)

一 政府提出海上衝突豫防法案ヲ貴族院ヨリ送付セラレタリ

一 田中正造君ヨリ神戶造船所北海道札幌內都春別鐵道及炭礦陸中釜石鐵山阿仁及院內鐵山拂下ノ件ニ附キ政府ニ質問書ヲ提出セラレタリ

質問書

第一 神戶造船所ハ政府カ莫大ノ資本ヲ用ヒテ設立シタル者ニシテ其目的ハ國防上及經濟上ノ必用ニ應スルニ在リテ即チ政府カ二十五年度豫算ヲ以テ要求シタル製鋼所ト其目的ヲ同フシタル者ナリ然ルニ政府ハ曩キニ金十八萬圓十箇年賦上納ノ契約ヲ以テ之ヲ川崎正藏ニ拂下ケ引續キ利引キ處分ヲ行ヒタリ而テ川崎正藏ハ其所有權ノ已ニ歸スルト同時ニ之ヲ日本製鐵會社ニ金六十五萬圓ヲ以テ轉賣セリ

右金六十五萬圓ニ價ヒセルモノヲ僅カニ金十八萬圓年賦拂下ヲ爲シタル理由如何又年賦上納金利引一時上納金ニ由テ政府ノ收入シタル金額幾千ナリシヤ

第二 北海道札幌內都春別鐵道及炭礦ハ政府カ金百八十餘萬圓ヲ費シタル大事業ナルニモ拘ハラズ曩キニ每年金五千圓ツ、借用料トシテ上納ノ條件附テ以テ之ヲ北海道廳非職理事官前ノ炭礦鐵道事務所長村田堤等ニ向テ拂下ケタル理由如何、其後政府ハ又之ヲ非職理事官堀基等ノ設立スル炭坑鐵道會社ニ向テ金三十五萬圓十箇年賦拂下ヲ許可シ尋テ又利引一時上納ヲ許可シタル理由如何

又右ノ堀基等ハ拂下許可ヲ得ルニ及ビ前ノ拜借人村田堤ニ對シテ權利讓受料トシテ金七十餘萬圓ヲ支拂ヒタルハ其契約書ニ徴シテ明カナリ此ノ如ク僅ニ二十五箇年間借用ノ權利スラ七十餘萬圓ニ値ヒスル物件ヲ僅カニ三十五萬圓十箇年賦拂下且ツ利引處分ヲ爲シタル理由如何

第三 陸中鐵道石鐵山ハ政府カ國防上及ヒ經濟上ノ必要缺クヘカラサルカ爲メニ鐵礦ヲ採掘シ及ヒ諸種ノ製鐵ニ從事シタル者ニシテ之カ爲メニ實ニ莫大ノ官金ヲ注入シタルニモ拘ラス低價年賦拂下ヲ以テ其鐵軌ハ之ヲ藤田傳

三郎等ニ拂下ケ其鐵山及營造物ハ之ヲ田中長衛ニ拂下ケタリ其理由如何右鐵山ニ用ヒタル總金高幾千ナルヤ之ヲ拂下ケ實際政府ニ收入シタル現金額幾何ナルヤ

第四 阿仁及院內鐵山ヲ古川市兵衛ニ低價拂下ケヲ爲シタル理由如何又右鐵山ニ費シタル金額幾何ナルヤ將タ拂下代金トシテ政府ノ收入シタル現金額幾千ナルヤ

右議院法第四十八條ニ依リ及質問候也

明治二十四年十二月二十一日

一 鈴木万次郎君、長谷川泰君、宇都宮平一君、加藤平四郎君、高田早苗君ヨリ下等手工學校設置建議案ヲ、中村彌六君ヨリ鑛業條例改正案ヲ、鈴木万次郎君、長谷川泰君、宇都宮平一君ヨリ中學校令改正建議案及高等中學校官制改正建議案ヲ、朝倉親爲君ヨリ電信線路新設建議案ヲ提出セラレタリ

第一 明治七年以後ノ戰役ニ死没シタル軍人軍屬ノ遺父母及祖父母扶助ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會ノ續

(小林樟雄君演壇ニ登ル)

○小林樟雄君(二百八十八番) 諸君ガ此頃御付託ニナリマシタ明治七年以後ノ戰役ニ死没シタル軍人軍屬ノ遺父母及祖父母扶助ニ關スル法律案ノ審查會ノ結果ヲ報告ヲ致シマス、此頃委員會ヲ開キマシテ、段々政府委員ニ質問ヲ致シマシタ上、此案ハ貴族院ノ決議ノ通、適當ナルモノト審查會ニ於テハ可決ヲ致シマシタ、此旨ヲ御報告致シマス、サウシテ其理由ヲ申シマスガ、一體此案ハ極テ單純ナル案デゴザリマスカラ、斯ク委員會ニ於テ可決致シマシタ理由モ亦、茲ニ簡單ニ一言致シテ置キマス

凡ソ國家ノタメニ倒レ、又ハ夫ガタメニ難儀ニ陷ッテ居ル者ガアルナレハ、之ヲ助け又其勞ニ酬ヒネバナラヌト云フコトハ、當然ノコトデゴザリマス、故ニ軍人軍屬ニシテ國家ノタメニ其性命ヲ曝シ、國家ノタメニ殫レタモノガゴザイマス、トキニハ、是レ又是ハ其遺族等ヲ扶助セネバナラヌコトハ、至當ノコトデゴザリマス、故ニ政府ニ於キマシテモ、是迄段々此等ニ關スル達若ハ法律ガ出來テ居リマス、此明治七年後ノ戰死者ノタメニハ、或ハ明治八年ニ兩度、又九年ニ一度、又明治二十三年ニ、即チ現行軍人恩給令ト云フモノガ出來テ、此數年ノ間數度此等ニ關スル扶助法ヲ立テ居リマス、併ナガラ此規定法律ハ甚ダ不完全ニアルデゴザイマス、或ハ此七年ノ一八年ノ達ノ第四十八號及第四百八十八號並ニ明治九年第九十九號ト云フ方ニ、既往ニ達ガゴザイマス、ケレドモ、其內明治八年第四十八號ノ法律デハ、其遺族扶助ノ仕方ガ、妻子及父母ニハ救助致ス様ニシテゴザイマス、ケレドモ、祖父母ニ對シテハ、當リ前デハ救助シナイト云フコトニナッテ居リマス、又明治八年達ノ第四百八十八號及明治九年達第九十九號ハ、妻子ニ扶助ヲ給スルヲ主意トシテ

ア、父、父母祖父母ニ對シテハ、是ハマー能クハ飢渴ニ迫ル者デナケレバ救助セムト云フコトニナツテ居リマシテ、夫デ今日ノ現行軍人恩給令ニ依リマス、廣ク孤兒モ寡婦モ父母モ、既ニ其救助スル様ニナツテ居ルガ、此既往ノ分ハ斯ノ如キ缺漏ガゴザイマス、夫故ニ前後甚ダ不權衡ナルコトニナツテ居リマス、夫デゴザイマシテ、畢竟此法律ハ缺漏ヲ——缺點ヲ補フモノデアル、或ハ舊法ニ依リマス、ト戸主ニ與ヘルト云フコトニナツテ居リマスガ、或ハ又妻子外與ヘナイト云フコトニナツテ居リマスカラ、其妻子ニシテ或ハ死スルトカ或ハ他ニ嫁クトカ或ハ他ノ家ニ入ルトカスルト云フト、其父母祖父母ハ受クルコトハナイノデ、其子ハ國家ノタメニ死シテ、老人ナリ父母ヤ祖父母ハ甚ダ難義ニ陷ツテ居リマスカラ、夫ヲ扶助シテ、其缺漏ヲ補ハウト云フ主意デアアリマスカラ、是ハ適當ノモノト信ジテ、審査會デハ貴族院ノ通ニ可決ヲ致シマシタ、此旨御報告致シマス

○谷元道之君(二百九十番) 此軍人軍屬ノ遺父母及祖父母ニ關スル法律案ニ附キマシテハ、唯今委員長小林樟雄君ノ御報告ガアリマシテ、本員ニ於テハ別ニ異議ハゴザイマセヌ、恐クハ滿場ノ議員諸君モ御同感ノコト、存ジマスカラ、私ハ茲ニ於テ第二讀會並ニ第三讀會ヲ省略シテ、異議ガナケレバ、直ニ確定ヲ致シタイ

○十文字信介君(百九十二番) 二百九十番ヲ贊成

○太田實君(五十一番) 二百九十番ヲ贊成

(贊成々々ノ聲起ル)

○高梨哲四郎君(百二十五番) 二讀會ニ修正ノ義ガアル——輕卒ニヤラヌ様ニ……

○議長(中島信行君) 決ヲ採リマス、本案ニ就イテ第二讀會ヲ開クベシト云フノ諸君ハ起立

起立者 多數

○議長(中島信行君) 多數デアリマス、次ニ本案ニ附イテハ、修正若クハ異議モナイ譯デアルカラ、直ニ第二讀會ヲ開カウト考ヘマス

(異議ナシ異議ナシト呼ブ者多シ)

○議長(中島信行君) 直ニ第二讀會ヲ開クコトニ異議ガナケレバサウシマス

(異議ナシ異議ナシト呼ブ者アリ)

右法律案 第二讀會

(齋藤書記官朗讀)

第一條 明治七年佐賀及臺灣ノ役明治九年熊本及山口ノ役明治十年鹿兒島ノ役ニ從軍シ戰闘若ハ公務ノ爲死シ又ハ傷痍ヲ受ケ若ハ疾病ニ罹リ之ニ原因シテ死シタル軍人軍屬ノ現存セル遺父母及祖父母ニハ當時ノ法規ニ依リ從軍者ノ寡婦ノ受ケタル若ハ受クヘキ扶助料ヲ給ス

前項ノ戰役ニ當リ臨時軍隊ニ編入セラレタル者及戰地ニ派遣セラレタル軍人軍屬ニシテ死シタル原因從軍者ト同シキハ其ノ遺父母及祖父母ハ前項ニ依ラシム

前二項ニ掲グル父母祖父母ハ軍人軍屬及臨時軍隊ニ編入セラレタル者戰死ノ時又ハ死シタル原因トナリタル傷痍ヲ受ケ若ハ疾病ニ罹リタルトキノ陸海軍兵籍簿中若ハ戸籍簿中ニ在ル者ニ限ル

○高梨哲四郎君(百二十五番) 修正說ガアル

(高梨哲四郎君演壇ニ登ル)

○高梨哲四郎君(百二十五番) 本員ノ修正說ハ別段ニ理由ハ述べマセヌデモ、大抵諸君ノ御腦裡ノ中ニ分ツテ居ラウト思ヒマスガ、本案ニハ父母祖父母ト云フ丈デアツテ、マダ必要ナモノガ缺ケテ居ル、ト云フノハ戰役ニ死シタル者ハ政府委員ノ説明ノ通、壯年者ニ多イ、壯年者ニ依ツテ後來ノ方針ヲ立テル、生活ノ道ヲ立テルト云フ弟妹ガアルニ相違ナイ、此案ノ主意ハ勿論戰死者ニ向ッテハ成ルベク寛大ニ、成ルベク國家ノ人民ガ國事ニ建レシムル様ニ、法律ノ方針ヲ取ラネバナラヌト考ヘマス、夫故ニ第二條ノ父母祖父母ノ下ニ「弟妹」ノ二字ヲ加ヘル——本員ノ說ハ未タ定規ノ贊成ヲ得テ、議題ニ出シテ居ルノデアリマセヌカラ、ドウカ贊成ヲ得テ「弟妹」ノ二字ヲ加ヘラレントヲ希望致シマス、斯ノ如キ法律ハ成ルベク寛大ニ、成ルベク戰死者ヲ満足ナラシムル様ナ方針ヲ取リタイト思ヒマス

○天野三郎君(九十四番) 天野三郎ハ贊成シマス

(政府委員法制局長官尾崎三良君演壇ニ登ル)

○議長(中島信行君) マダ問題ニナリマセヌ

○政府委員(尾崎三良君) 併ナガラ一應必要ト思ヒマスカラ……今高梨君ヨリノ修正說カ出マシタガ……弟妹ヲ加ヘルト云フコトデゴザイマシタガ、弟妹ノコトハ……今一寸其餘項ヲ見出シマセヌケレドモ、明治八年ナリ明治九年ナリノ規則ニハ掲ケテアルノデゴザイマス、夫ハドウ云フ理窟ガ掲ゲテアルカト云ヘハ、一時其妻子ノ受クベキ金額ヲ、一年分ヨリ少カラヌ五年分ヨリ多カラザル金額ヲ、一時ニ給與スルト云フコトニナツテアルノデゴザイマス、且ツ又夫ヲモ今ノ御說ノ如ク、父母妻子同様に終身給與スルト、現行ノ法律トハ大變權衡ガ合ハナクナル、現行ノ法律即チ今日寛大ニナツテ居ル所ノ法律

扶助料ヲ給スルコトニナツテ居リマス、ケレドモ幼年ノ弟妹ニハ矢張一時限給スルコトニナツテ居リマス其邊ノ幼年ナル弟妹ニ給スル事柄ハ、明治八年ノ明治九年ノモ又明治二十三年ノ現行法モ、少シモ變リハナイ譯デアリマスカラ、是ハ一時弟妹ヲ加ヘルト、大變現行法ト權衡ガ合ハナクナリマスカラ、未タ問題ニナリマセヌデ、幸ヒ此儘立消ニナラントヲ希望致シマス

(決ツト呼ブ者アリ)

○議長(中島信行君) 決ヲ採リマス、第一條原案ニ贊成ノ諸君ハ起立

起立者 多數

○議長(中島信行君) 多數

(齋藤書記官朗讀)

第二條 第一條ニ當ル父母祖父母アルモ同一戸籍内ニ於テ現ニ扶助料ヲ受クル者アルトキハ其間扶助料ヲ給セズ

(仕舞迄ト呼ブ者アリ)

○議長(中島信行君) 仕舞迄朗讀致シマス

(齋藤書記官朗讀)

第三條 扶助料ハ本法施行ノ日ヨリ起算シテ之ヲ給ス

第四條 扶助料ヲ受クル者ノ權利消滅停止及停止中扶助料ノ支給並ニ扶助

料ノ轉給及支給ノ順序ハ現行軍人恩給法ノ定ムル所ニ依ル
第五條 遺父母及祖父母ニシテ廢家其ノ他ノ事故ニ因リ他家ニ入籍シタル
者運クモ本法施行後三箇年內ニ廢家再興又ハ復籍スルトキハ其ノ再興又
ハ復籍ノ日ヨリ本法ニ依リ扶助料ヲ受クルコトヲ得
第六條 扶助料ハ轉給ノ場合ヲ除クノ外本法施行ノ日ヨリ三箇年內ニ請求
セサルトキハ其ノ權利ヲ拋棄シタルモノトス
第七條 本法ハ明治二十五年四月一日ヨリ施行ス

〔採決々々ト呼ブ者アリ〕
○議長(中島信行君) 異議ガナクバ、本案ヲ可決ノモノト見認メマス

○議長(中島信行君) 異議ナシト呼ブ者アリ
〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○天野三郎君(九十四番) 直ニ確定議ニ移ラレンコトヲ望ム

○加藤平四郎君(二百九十八番) 二百九十八番ハ三讀會ナラバ、少シク文字
ノ修正ガシタイ、此若クハ「ト云フ」ノ字ガ皆削テアリマスガ……

○議長(中島信行君) 少シ御待チナサイ、三讀會ニ直ニ移ルヤ否ヤノ決ヲ採
リマス

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕
○議長(中島信行君) 異議ナクバ直ニ三讀會ヲ開キマス、朗讀ハ省略致シマ
ス

○加藤平四郎君(二百九十八番) 今迄用ヒ來ツタ所ニ依ルト「ク」ノ字ハ皆ア
ル様デスカラ、此若ハ「トアル」所ヘ「ク」ノ字ヲ入レタイ

〔贊成々々ト呼ブ者アリ〕
○安東九華君(二百三十九番) 贊成デス

○端山忠左衛門君(二百十六番) 少シク疑ガアルカラ、議長ニ問フガ、貴族
院ノ決議ヲ以テ原案トスルノカ、政府ノ提出ヲ原案トシテアルノデゴザイマ
スカ

○議長(中島信行君) 加藤君ノ修正説ガ出テ居ルガ、マダ定規ノ贊成ニ滿チ
マセヌ、尙ホ御注意ノタメニ申スガ、縱令一字デモ半字デモ貴族院ト協議ヲ
シナケレバナラヌ事柄ニナリマス、兎ニ角唯今ノ修正説ニハ贊成ガアリマセ
ヌカラ、本案ニ就イテ決ヲ採リマス本案全體ヲ可トスルノ諸君ハ起立
起立者 多數

○議長(中島信行君) 多數デアリマス、次ニ移リマス

第二 豫算案
○議長(中島信行君) 朗讀ヲ省略致シマスガ、陸軍省ノ部ハ經常部全體ヲ問
題ニ附シマス

〔陸軍省經理局長陸軍監督長野田幹通君演壇ニ登ル〕

○政府委員(野田幹通君) 諸君、本官ハ陸軍要求書ニ對スル査定案ニ御同意
ガ出來カネマス所ノ理由ヲ陳述致シマス、陸軍ノ方針ハ大體昨年ニ異ナル所
ハアリマセヌ、故ニ二十五年ノ要求書ハ其方針ニ基キ、且ツ神聖ナル議
院ノ協賛ニヨリ昨年議決サレタル所ノ經常費ニ對シマシテ、調製ヲシタモノ
デアリマス、然ルニ昨年協賛ヲ得マシテ議決シマシタル所ノ經常費ニ對シマ
シテ、尙ホ本年査定案ノ如ク減額ガ豫算委員會デ成立チマシタ、其減額ノタ
メニ陸軍省ハ目今執ル所ノ方針ヲ貫徹セシムルコトガ出來ナイト云フ理由ニ

就キマシテハ、豫算委員會及豫算委員ノ第五科ノ質議ニ對シマシテ、精シク
御說明ヲ致シテ置キマシタカラ、諸君ハ速記録デ定テ御承知デアリマスコト
ト存ジマス、且ツ又先日來議場ノ有様ヲ見レバ政府委員ノ原案維持説ニ附キ
マシテハ、大分ウルサイカラ成ル丈簡略ニシテ貰イタイト云フコトニ附キマ
シテハ、既ニ簡單トノ御發言ガアリマシタ故ニ、本官ハ成ル丈簡略ニ、各款
項ニ附キ詳細ナル所ノ說明ハ豫算委員會ニ於テ説明致シマシタル廉ニ讓リマ
シテ、大體上軍事費ノ動カスベカラザル理由ヲ事實上ニ附キ、道理上ニ附キ、
成ル丈簡單ニ辯明ヲ致ス積デアリマス、然ルニ此經常費ノコトニ於キマシテ
ハ、先ニ箕浦君ノ御演説ニモ、年々歳々増減ヲ爲スコトハ得策デナイ、併シ
本年モ又已ムヲ得ズ減額ノ時機ニ遭遇シタリト云フコトヲ述ベラレマシタ、
又菊池君ハ議場ノ決議ハ一國人民ノ輿論トモ申スベキモノデアルト云フコ
トヲ明言サレマシタ、陸軍省ガ信ジテ居リマス所モ、御同様ノ目的デアリマ
ス、故ニ陸軍省ハ神聖ナル議會ノ協賛ヲ得テ昨年議決サレタル所ノ經常費ヲ
基礎トシ、而シテ二十五年ノ經常費ノ金額ト云フモノヲ要求シタノデアリ
マス、本官等ノ考ヘマス所ニ於キマシテモ、經常費ハ年々歳々事由ナクシテ
動カスベキモノデアナイト信ジテ居リマス、故ニ本年官制ノ改正ニ依ッテ、
陸軍俸給ノ減少スベキモノ、又ハ乘馬飼養令廢止ニ依ッテ、馬匹ノ減ズルモノ、
又海岸砲臺ノ製砲費ニ於テ人民獻金ノ資金ガ本年度ハ費消シタ爲ニ減ズルベ
キモノ、此等ノ費用ハ即チ昨年議決シタル所ノ金額ヨリ十一萬圓餘ヲ引去リ
マシテ、既ニ陸軍省ハ要求ヲシタノデアリマス、然ルニ昨年ノ議決ヲ尙ホ本
年此上ニモ減額ヲ試ミラル、ト云フモノハ、陸軍省ニ於テハ其止ムヲ得ザル
ト云フコトガ無イモノト思ヒマス、陸軍省ハ明治十九年ノ改革以來ト云フモ
ノハ、専ラ兵力ヲ強メルコトニ勉メマシタ、既十九年ノ陸軍本省ノ金額ハ
三十九萬五千圓餘、二十五年ノ要求額ハ二十萬四千圓餘、差引殆ド二十萬程本
省費ハ減額致シテ居リマス、本官ハ前申シマス通、成ルベク簡單ニ御辯明申シ
マス積デアリマスガ、然ルニ、簡單デ諸君ガ御分リニナリ、査定案ノ金額ヲ
止メラレテ、原案要求額ニ諸君ガ協賛ヲ致サレマスナラバ、本官ハ喜ンデ此
儘演壇ヲ退キマスデアリマス、併シ唯簡單ナル説明ノミデハ、中ニ諸君ノ最モ
信用セラレテ居ル所ノ査定案、死守シテ居ラル、所ノ査定城ヲ、簡單ナル一語
デ、守テ解カル、ト云フコトハ容易デアアルマイト思ヒマス、故ニ本官ハ道理
上事實上軍事費ノ減額スベカラザル云フ所ノ事實ヲ證明致シマシテ、諸君
ノ御協賛ヲ得ンコトヲ望ミマス、抑、陸軍ノ擴張ハ去ル十九年度ニ於テ同
年度ノ決定額ニ基キ各師團ノ軍備編制ノ計畫ヲ立テマシタ、爾來其計畫ニ基
キマシテ、年々兵員ヲ増加シ、既ニ師團ハ騎兵隊ヲ除クノ外ハ、本年度ニ於キ
マシテ稍、完全ヲ見ルニ至リマシタ、然レドモ近衛諸隊ハ漸ク二十三年度ニ
於キマシテ從前ノ定額ニ二十八萬圓ヲ増加シ、併セテ同年度ヨリ諸隊ノ編制
替ニ著手致シマシテ、今ヤ師團ノ騎兵隊ト近衛諸隊ハ編制ノ中央デアリマス、
然ルニ査定案ノ如ク、軍事費ニ向ヒ減額致シマシタナラバ、二十六年度ヨリ
年々増加スル所ノ兵員ハ、何ヲ以テ之ヲ養ヒマスカ、假ニ一步ヲ譲ッテ、査
定案ノ如ク本年度ニ於テ減額シ得ベキモノト致シマスニ於テハ、二十六年度
以後増加スル費用ハ、年々議會ノ協賛ヲ經テ、増額ヲ仰ガネバナラヌト云フ
結果ニナリマス、若モ左様ニナリマスレバ、諸君ガ協賛ヲセラレナイトキハ、
近衛諸隊編制ハ半ニシテ止メネバナラヌト云フ大不都合ヲ見ルニ至リマス、

既ニ此軍隊編制替ト云フコトハ、議會開設前、天皇陛下ノ御制定ニ基キ、公布サレテアル所ノ著手順序ニ隨ヒ、開會前ニ於テ政府ハ其編制ニ基イテ金額ヲ定メ、議會ニ於テモ其金額ハ昨年既ニ協贊サレテ居ルデアリマセヌカ、昨年ノ議員諸君、本年ノ議員諸君ハ二二ノ交代ハアルモ、本官等が見所デハ、均シク昨年ノ議員諸君デアル、然ルニ昨年ノ議員諸君ハ協贊決定シ、本年ハ其議員ニシテ尙ホ之ニ減額ヲ加ヘラル、ト云フノ理由ハ、本官ノ了解セザル所デアリマス、常ニ諸君ハ、政府ハ昨日非トシタル事ヲ今日ハ是トシ、昨日是トシタル事ヲ今日ハ非トスル、此ノ如キ施政上ノ變遷ヲナス政府ハ、何ヲ以テ信用スルコトヲ得ルカト、常ニ非難ヲサル、デハアリマセヌカ、然ルニ其議員ニシテ昨年議決サレタモノヲ、本年故ナクシテ減額サル、ニ於キマシテハ、本官等ハ又議院ノ議決ヲ信用スルコトガ出來ナイト云フ様ナ悲シキ結果ヲ見ルニ至リマス、又本年ノ軍事費ニ於キマシテ、昨年ノ決定額ヨリモ三萬圓ノ増加ニナツテ居リマス、此費用ハ前述ベマシタル所ノ從前ノ決定額ヲ以テ、編制替ヲ爲スノ目的ヲ立テマシタル所ノ師團近衛兵ノ軍隊ヲ異ナルモノデアリマス、此三萬圓ハ要塞砲兵隊ガ昨年ヨリ、本年増加致シマス所ノ二百九十八名ニ對スル費用デアリマス、此要塞砲兵ノ費用ハ何ヲ以テ支辨スルノ目的カト云ヘバ、是ハ砲臺建築ニ伴フ所ノ費用デアリマスカラ、砲臺建築ガ落成スルニ從ヒマシテ、之ヲ守ルノ兵ヲ置カザルヲ得ナイ、故ニ要塞砲兵隊費ハ砲臺建築費ノ内ヲ殺イデ、此軍隊ノ費用ニ充ツルノ目的デアリマス、故ニ二五年度ニ於テ増員ニ對スル所ノ費用ハ、二四年度ニ於テハ要塞砲兵ノ兵營ヲ建築スル所ニ充テ、アツタ所ノ費用ハ、二五年度ニ於テハ落成ノ爲ニ不用トナリ、之ヲ經常費ニ移シテ要塞砲兵隊ノ費用ハ御協贊ヲ得ルノ計算デアリマス、斯ノ如ク論シマスレバ豫算委員査定案、減額ハ兵隊費ニ及ンダルモノデハナイ、要塞砲兵ノ三萬圓ヲ減スル爲ニ減額シタルデハナイ、經常費ニ於テ二十九萬何千圓ト云フモノヲ減シタル所ノ費用ハ、武官ノ俸給ハ文官ノ俸給ヲ以テ減シ、文官ノ俸給ハ一般ノ比例ヲ以テ減シ、其他ハ兵器費、廳費、雜給等ノ如キ費目ニ就イテ減少シタルモノデアルト云フ必ズ御辯明ガアルデアラウト存ジマス、本官モ亦斯ノ如ク豫算委員會ニ於テ承知ヲ致シテ居リマス、故ニ是ヨリ其各科目ニ就イテ、減額ガ事實上ニ適シナイト云フ所ノ事柄ヲ證明致シマシテ、諸君ニ訴ヘマス、俸給ノ事ハ是ハ一般ノ意見ニ讓リマシテ、喋々辯ジマセヌ、ソコデ此兵器彈藥費ニ於キマシテハ、表面上ハ二萬五千圓餘ノ減額トナツテ居リマス、然レドモ其實兵器費ノ減額ト云フモノハ、十萬圓餘ト云フ許算ニナリマス、如何トナレバ要求書ノ首ノ所ニ說明ヲ致シテ置キマシタル十九年度ノ軍備擴張及連發銃製造ノ爲ニ、一時止ムヲ得ズ士官下士ノ定員若干ヲ減シ、其費用ヲシテ之ニ充テ、アリマシタル所ノ費額復員費七萬四千圓餘ハ豫算委員諸君ハ先ヅ當分舊ニ復スリ止メ、而シテ其費用ヲ兵器彈藥費ニ移シテ、乙號連發銃製造費線上ノ中ニ此七萬四千圓餘ハ辨ズルコトノ計算ニナツテ居リマス、故ニ兵器彈藥費ノ減額ハ全ク十萬圓餘ノ減額トナツテ居リマス、然ルニ其兵器費ノ十萬何千圓ノ減額ト云フモノハ、豫算委員ノ目的ハ乙號要求書ノ連發製造費ヲ協贊セラル、ニ就イテハ村田銃ノ補充費ヲ幾分減少スルモ、敢テ差支ハアルマイ、一方ニ於テ充分ノ要求ヲ容ルレバ、一方ニ於テハ幾分陸軍省デモ辛抱ヲセネバナラヌト云フコトデアリマシタガ、此村田銃ヲ年々十分一ツ、補充スルト云フコトニ就キ

マシテ、豫算委員ノ陸軍省主任者ニ就イテ問ハレタニ、簡單ニ十分ノ一補充スルト云フ御答ヲ致シマシタ爲ニ、或ハ豫算委員ハ村田銃全數ノ十分一ト御聞取リニナリマシタト存ジマス、是ハ主任者ノ御答ガ不充分デアッタト私ハ謝リマス、此村田銃ノ十分一ツ、補充スルト云フモノハ、陸軍ニ現存シテ居リマス所ノ村田銃總數ノ十分一デハアリマセヌ、倉庫ニ蓄ヘデアリマス所ノ銃ハ、年々破損ヲシマス患ハアリマセヌカラ、現ニ軍隊及學校生徒ニ渡シテアル所ノ、日々使用スル銃ニ對スル十分一デアリマス、此二五年度ニ於テ十分一ノ爲ニ製造スル銃砲ノ數、其金額ト云フモノハ、豫算委員ニ差出シテ置キマシタル所ノ附表ニ、其數ガ明瞭致シテ居リマス、決シテ本官ガ前ノ御答ヲ尙ホ躊躇スル爲ニ、斯ノ如ク辯ズルコトデナイト云フコトハ、附表ヲ御覽ニナレバ明デアリマス、ソコデ二五年度ニ村田銃ノ十分一ヲ拵ヘマス爲ニ、要求シマス所ノ金額ハ、步兵村田銃ハ七萬九千圓餘、騎兵村田銃ハ四萬三千三百圓餘、併セテ八萬三千三百圓餘ノ金額デアリマス、然ルニ兵器費ニ向ヒマシテ減額ヲサレタ所ノ十萬圓餘ノ金額ノ中デ、兵器費ガ七萬二千圓餘ノ減額ニナツテ居リマス、然ルトキハ村田銃ノ十分一ノ補充ト云フモノハ、僅ニ二百挺ホカ製造ガ出來ナイト云フ結果ヲ生ジマス、ソコデ二五年度ニ要求シタル騎兵馬所ノ補充數ハ步兵ガ五千九百何挺、此金額ハ步兵ガ七萬九千圓、又騎兵ガ三百挺デ此金ガ四千三百幾ラデアリマスカラ、殆ド十分一ハ拵ヘ得ラレナイト云フ様ニ減額ニナリマシタ、是ハ強チ豫算委員ノ調査不備ノ結果トハ申シマセヌ、是ハ陸軍省ノ主任者ノ御答ガ判然シナイ爲ニ、斯様ナル不都合ナル間違ヲ生シマシタルデアリマス、其點ハ本官カ諸君ニ向ヒマシテ大ニ謝リマス所デアリマス、又彈藥費ニ於キマシテ、二萬七千圓餘ノ減額ニナツテ居リマス、是ハ先日委員諸君ニ就イテ聽取リマシタル所デハ、乙號ノ要求書中綿火藥ノ製造ヲ、諸君ハ協贊ヲ——委員諸君ハ協贊ヲセラルルノ査定ニナツテ居リマス、故ニ彈藥費ニ於キマシテモ、幾分ヲ減ズルノハ差支アルマイ、殊ニ彈藥費ニ於テハ、他ノ點ハ稍、陸軍省ハ整理シテ居ルモ、火藥購買等ニ就イテハ未ダ十分ナラザル點アルニ依ツテ、尙ホ購買法等ニ注意ヲスレバ、幾分ヲ減額スルモ妨ナイデアラウト云フコトノ御注意モ受ケマシタ、其御注意ニ就キマシテ本官ハ甚ダ喜ブ所デアル決シテ今日完全無缺トハ斷言致シマセヌ、年々及ブ丈ノ事ハ整理ヲシ、及ブ丈ノ事ハ改良致シテ居リマスケレドモ、尙ホ未ダ足ラザル所ノモノハ必ズアリマセヌデアリマセウ、故ニ購買法等ノコトニ就イテ御注意ヲ受ケタル點ハ十分注意ヲ加ヘ、此上整理ヲ致シマス積デアリマス、併シ陸軍省經常費ノ彈藥費ハ工廠デ拵ヘル所ノ彈藥ヲ求ムルノ費用デアリマスカラ、陸軍省經常費其モノガ直接ニ購買スルノデアリマセヌ、殊ニ此彈藥費ハ演習用ノ費用ガ多イノデアリマス、演習用ノ費用ハ三十二萬六千圓餘、又二五年度ノ増加兵ニ對シマス所ノ費用ガ四萬四千圓餘ノ要求ニナツテ居リマス、故ニ綿火藥製造所ヲ一方ニ設ケラレマシタメニ、少シモ此彈藥費ニ關係ハ及ビマセヌ、如何トナレバ綿火藥ハ是ハ連發銃ノ綿火藥ニ關係ヲ持ツモノデアリマシテ、今日使用シテ居リマス所ノ村田銃ニ關係ガナイモノデアリマス、故ニ綿火藥ノ製造ガ成立致シマシタメニ、二五年度ニ要求致シタル所ノ彈藥費ヲ減ズルト云フコトハ、出來ネマスコトデアリマス、諸君ハ我國ノ獨立ヲ重ジ、各國對峙ノタメニハ軍備擴張ガ必要デアルト云フコトニ就イテ、既ニ乙號ニテ要求致シマシタル所ノ綿火藥製造所ノ

コト、連發銃製造ノ年度ヲ繰上ゲルコト、演習費ノコト、又一ニハ東京灣砲臺建築費ヲ一旦委員會デハ否決サレマシタガ、一方ニ於テハ又原案ニ復スルノ御建議案ガ成立ツテ居リマス、此點ヲ見マスルト、軍備ヲ擴張シテ、我國ノ獨立ヲ維持セネバナラスコトニ就イテハ皆諸君モ御同感ト存ジマス、實ニ國家ノタメ賀スベキコトデアリマス、斯ノ如ク軍備擴張ニ熱心ナル諸君ニシテ、兵器彈藥費ノ金額ニシテ昨年協賛ヲ經テ議決セラレタルモノヲ、本年減額ヲ試ミラル、ト云フノハ、甚ダ遺憾ニ堪ヘナイ譯デアアル、陸軍省ハ事務費等ノ軍隊直接費ニアラザル費用ハ、如何ニモ辛抱ノ出タルハ辛抱シマス覺悟デアリマス、併シ軍隊直接ノ費用軍隊教育ノ費用等ノ點ニ於キマシテハ、決シテ御同意ガ出來ナイト云フコトヲ、本官ハ斷言致シ置キマス、又廳費ノ點ニ於キマシテ曩ニ岩崎君ハ、豫算委員ノ一割ヲ減スト云フ方針ハ決シテ不當デナイ、政府ハ官制ヲ改革シタデハナイカ、夫ニ伴フ所ノ官員ガ減スレバ、從ツテ廳費モ減スルハ至當ナル譯デアアル、然ラバ廳費ノ一割ヲ減スルハ當然ナル理由デアアルト云フコトヲ辯明セラレマシタ、然ルニ、其辯明ニ對シマシテ、豫算委員ノ辯駁ガナイ以上ハ、岩崎君ノ御演說ハ即チ豫算委員諸君ノ御方針ト本官ハ認メマス、然ルトキニ於キマシテハ、陸軍省ハ既ニ昨年可決セラレタル所ノ廳費ニ對シマシテハ、本省ハ五分、軍事費ハ一割餘、憲兵ハ如キハ二割餘ヲ減シテ、業ニ既ニ要求ヲ爲シタルモノデアリマス、得ナイニ、之ヲ言換ヘマスレバ、本日報知新聞ガ論ズル所ノ調査不備トモ申スベキモノデアリマセウカ、是ハ本官ガ失言デアリマセウカ、私ハ本年ノ豫算委員諸君、第五科ノ主任諸君ガ陸軍省ノ豫算會ニ向ヒマシテ、本年調査セラレタル所ノコトハ本官ハ殊ニ感服ヲ致シテ居リマス、實ニ能ク調査カ行居イタモノト思ヒマス、又注意ヲ致サレマシタ件等ニ就イテハ、本官ガ大ニ満足ヲ得マス所デアリマスカラ、尙ホ明年ニ至ラ、テハ一層整理ヲシナケレバナラスコト云フ感ヲ持ツテ居リマス、併ナガラ兵器彈藥ノ點、今申シマシタ通ノ廳費ノ點等ニ至ッテハ、陸軍省ノ澤山ナル經費ノ中ニ就イテ、主任者ノ説明ノ完全セザル所ノコトヨリ起ル或ハ廳費ノ如キハ、重復ノ減額ト云フ様ナ場合ニモナリマスカト存シマス、ソコデ御參考ニ此廳費ノコトヲ申シマスレバ、本省ノ二十年度ノ廳費ハ七万四千圓餘デアリマス、二十五年年度ハ三万九千九百圓餘デ、殆ド半額ニナツテ居リマス、又旅費ハ本省ノ二十年度ハ五万六千六百圓餘、二十五年年度ハ一万三千圓餘デアリマシテ、是ハ殆ド三分一ニナツテ居リマス、軍事費中ノ軍隊ヲ除クノ外各官廳ノ十九年度廳費ハ五十三万四千圓餘、二十五年年度ハ三万九千圓餘、斯ノ如ク廳費ノ如キハ、軍隊擴張ノタメニハ、陸軍ハ業ニ既ニ節減シ得タル、限ハ節減ヲ致シテ居ルデアリマス、要スルニ陸軍省ガ査定案ニ御同意ノ出來ナイト云フ所ノ大體ノ旨趣ハ、既ニ昨年諸君ノ御協賛ヲ得テ決定シテ居ル所ノ軍事費ノ如キハ、十九年度以來陸軍ノ編制ヲ完備セシムルタメニ計畫ヲナシテ居ル所ノ金額ニ對シ、之ヲ減額スルニ於キマシテハ、二十六年年度ヨリ二十九年年度ニ至ル間マデノ近衛諸隊ノ編制替ヲ完備シ、殘ル所ノ師團騎兵ヲ完備セシムルト云フ點ニ附キマシテ、目的ヲ貫通スルコトガ出來ナイ、又一ニハ昨年經常費ニ於キマシテハ、諸君ノ多數ヲ以テ協賛セラレ、決定シテ居ル所ノ金額ヲ、故ナクシテ本年マデ減セラレルト云フノハ、當ヲ得ナイモノデアルト存ジマス、既ニ經常費ノ如キハ一旦決定ヲシマシタ

ナレバ、法律勅令等ノ改正其他給養法ノ改正等アルニアラザレバ、容易ニ増減ヲナスベキモノデハナイト信ジマス、又兵器彈藥ノ費用ニ移サレマシタ所ノ、士官下士ノ定員ニ復シマス所ノ費用モ、豫算委員會ニ於キマシテ説明ヲ致シテ置キマシタル通、永年士官下士ノ缺員ガアリマシテハ、教育上其他ニ附キマシテ、大ナル差支ヲ生ズルニ至リマスカラ、ドウカ是モ要求額ニ復セラレンコトヲ希望シマス、其他憲兵、屯田費等ノ各款ニ對シマシテハ、委員會ニ於イテ辯シ置キマシタル通デアリマスカラ、本會ニ於キマシテ喋々説明ヲ致シマセウ、故ニ本官ハドウカ諸君ノ御協賛ヲ得ンコトヲ偏ニ望ム者デアリマス、本官ハ決シテ諸君ガ信用サレテ居ル所ノ査定案、死守シテ居ラル、所ノ査定城ニ對シ、陸兵ヲ以テ攻撃シ破壊スルノ精神デアアリマセウ、軍事費ノ缺クベカラザル事實ヲ述ベ、ドウカ諸君ハ自ラ査定案ノ城門ヲ開カレテ、事實ノ尤ナル理由ヲ認メラレマシタナラバ、ドウカ査定案ノ修正ヲ原案ニ歸セラレンコトヲ切ニ望ミマス、大體上ノ簡單ナル説明ヲ致シマシタノデアリマスカラ、説明上ノ不十分ナル點、又要求書中ニ於キマシテ、御不審ノ點ガアリマシタナラバ、十分ニ御質議ガアラント希望シマス

○佐竹義和君(百九十六番) 唯今政府委員ガ十九年ノ改正ニ基キテ、近衛隊トサウシテ騎兵隊ヲ除クノ外ハ稍、整理ニ就クト、斯ウ言ハレマシタガ、本年度ト云フ様ニ聽キマシタガ、本年度ト云フノハ二十四年度デアリマスカ、夫カラ近衛兵並ニ騎兵隊ハ十九年ノ改正ニ基キ整理スルト云フコトニ成リマスレバ、其點ハ幾ラデアリマスカ、其點ニ屬スル費用ハ將來幾ラデアリマスカ、夫カラ近衛隊及騎兵隊ヲ除クノ外、整理ニ就クト云フコトニナリマス、步兵ナリ、砲兵ナリ、工兵ナリノ兵員ハ幾ラニナルカ、此點ヲ一々説明ヲ請ヒタイ、夫カラ聞ク所ニ依レバ、青山御所ノ前ノ一師團ノ司令部デアリマスガ、是ハ低イ處ヲ埋メテ近頃新築ニ至ッタ處ダラウト思ヒマスガ、ソコノ官舎デアリマセウ、本年ノ九月、二十八九日ノ風ニ倒レタト云フコトデアリマス、近頃建デ、間モナイモノガ、漸ク垣根ガ崩レル位ノ風デ、倒レタト云フコトハ、ドウ云フ原因デアリマセウカ、本員ノ察スルニ、建築ガ不完全デアツタト思ヒマス、シテ見ルト其倒レタ損失ノ費額ハ幾ラデアルカ、是ガ建築ヲ受負ツタノハ誰デアリマスカ、此點ヲ

○政府委員(野田豁通君) 御答ヲ致シマス、十九年ノ軍備擴張ノ計畫ニ依リマシテ、師團騎兵ヲ除クノ外、師團各隊ノ編制ヲ完備致シマス所ノ著手ノ順序ハ、昨年ノ豫算要求書ノ説明ニ精シク掲ケテアリマス、又近衛諸隊ノ二十三年年度以後年々増加ヲ致シマシテ、三十年度ニ終ル所ノ計算ハ、是レ亦本年ノ豫算書ニ掲ゲテアリマセウ、又人員等ガ御入用デアリマスナラバ、定員表ヲ出シテ之ヲ讀ミテテタルコトハ最ト易イコトデアリマスガ、併シ左様ニ此處デ一々讀ミテタナラバ、又三十分ヤ一時間ハ費スデアリマセウト思ヒマスカラ、御入用デゴザイマスレバ後刻定員表ヲ御覽ニ入レマセウ(佐竹義和君ドウゾト呼ブ)又青山ノ第一師團ノ倉庫ガ、先日ノ大風ニ倒レマシタノハ事實デアリマス、是ハ十分調査ヲ致シマシタル所ガ、他ノ家屋ガ倒レザルニ、新築ノ倉庫ガ倒レタト云フノハ、建築上ノ不十分ト陸軍省ハ認メマシタ故ニ、建築ノ請負人タル土木會社ニ命ジマシテ、條約書ニ基キ一年間以内ノ破損デゴザイマスカラ、再築ヲ命ジマシタ

○議長(中島信行君) 二百二十四番

(駒林廣運君演壇ニ登ル)

○駒林廣運君(二百二十四番) 唯今議ニ附サレマシタ陸軍省ノ所管ハ、豫算委員ニ於テ分科致シタ所ノ第五科ニ於テ査定致シタノデアリマス、夫デ其要領ヲ委員長ニ代ツテ本議員カラ茲ニ之ヲ陳述致シマス、(東尾平太郎君拜聴ト呼ブ)其前ニ少シ調査致シマシタ手續ヲ申上デテ置ク方ガ宜シカラウト思ヒマスガ、其五科ト云ヒマスノハ、人員ハ確カ七人デアリマシタ、夫ハ杉田定一君、中村榮助君、高木正年君、綾井武夫君、佐々木善右衛門君、飯村丈三郎君、次ニ本議員此少人數デアリマス、然ルニ諸君モ御承知ノ如クニ、陸軍省海軍省所管ノ項目ハ數限リナイト申ス程多イノデゴザリマスカラ、悉ク手分致シマシテ、分科ヲ定メテ調査致シマシタ、而シテ其事ニ質問ガ起ル時ニハ、或ハ大底ノコトハ本議員カラ御答申ス積デアリマスケレドモ、或ハ代ツテ實際ニ當ツタ方カラ御答申ス積デアリマスケレドモ、或ハ御承知置テ願ヒマス、ソシテ唯今政府委員カラ辯ゼラレマシタ所ニ至ッテハ、本議員ノ見込ム所トハ相違シタ廉ガ多イデアリマスデ、ナラウ事ナラ一々之ニ向ッテ辯駁ヲ加ヘタイケレ共、唯今私ガ此處ニ立チマシタノハ、專ラ委員長ニ代ツテ調査ノ要領ヲ報告スルニ止マル譯デゴザイマスカラ、辯駁等ニハ深く這入ラヌ積デアリマス、去リナガラ豫算委員會ガ執リ來ツタ所ノ點ニ就イデ、反對スルコトハ勿論此所ニ述ベルガ必要ト思ヒマスカラ、其廉々ヲ簡單ニ申スデゴザリマセウ、政府委員ハ第一款ノ陸軍本省ニ於テハ餘リ辯シマセヌデ、直ニ軍事費ニ移ッテ居リマスルカラ、此事ヲ私カ長ク述ベルコトハ必要ト思フ、唯其條給ヲ減シマシタノハ、矢張他ノ各省ト同シク、陸軍省海軍省ニモ適當ノ方針ヲ定メテ、之ヲ減シ得ベキハ減ズル様ニト云フ委託ヲ受ケ、其方針ニ依ッテ之ヲ減シタコトデアリマス、廳費ノ如キハ、唯實際ニ減シタ如クニ政府委員ハ前カラ申述ベラレマスケレドモ、悉ク其實際ニ當ツテ其事物ヲ質問致シ、減シ得ベキハ減ズル様ニト云フ方針ヲ執リマシタコトデアリマス、陸軍省ハ政府委員ガ述ベマシタ通、善イ設計モ出來テ居ルト思ヒマス、悉クトハ申シ兼ヘマスケレドモ、夫デ此品物ヲ段々取調ベタ末、結局減シタノハ確カ一割以內デアツタ、確トモ記憶致シマセヌガ、九厘許ニ附ク様デアリマス、是ハ眞ニ九厘ト初カラ目的ヲ立テ減シ去ツタコトデアリマセヌケレドモ、品物ニ就イテ段々減シタ所ハ斯ウ云フ風ニナルカラ、即チ九厘減ト云フ、確カ九厘ダツタ様デアリマス、様ニ出來タコトデアリマス、前ニモ申シタ通、陸軍本省ニ就イテハ政府委員モ長ク述ベマセヌデハ茲ニ擱キマス、夫カラ軍事費ニ移リマシテ、政府委員ハ色々述ベラレテアリマスガ、第一近衛擴張ノ目的ヲ誤マルトマデ痛論サレテアリマス、ケレドモ豫算委員ハ其方針ニ對シテ政府ノ意見ト少シモ異ナルコトハナイ、即チ軍隊ヲ完全ニスルコト、兵ヲ練ルト云フコト、又精良ナル兵器ヲ充實スルコト云フコト、悉ク其方針ヲ贊成致シテアリマス、俸給等ニ附イテ減シマシタノハ、唯其一人ノ頭ノ上ニ附イテ減シ去ツタモノデ少シモ軍隊ヲ擴張シテ行クニ、差支ガアルト云フコトハ見出し難イ、最モ當局者ガ一人ノ頭デ減ズルヨリハ、官制ヲ改革シテ、組織ヲ變ヘルト云フ御見据ガアルナラバ、夫ハ格別、豫算委員ニ於テハ唯一人別ニ附イテ減額ヲナシタモノデアリマスルカラ、之ヲ以テ軍隊ノ擴張ニ妨ガアルトハ、些ト御間違デアラウト思フ、次ニ政府委員ノ力ヲ

籠メテ辯ゼラレマシタノハ、兵器彈藥費デアリマス、是ハ唯今政府委員ノ陳述ニ依レバ、答辯ニモ誤ガアルト云フコトデアリマスルカラ、豫算委員ノ調査致シマシタ當時トハ多少事實ノ變更ガアラウト思フ、尙ホ是ハ取調ヲ致シテ見マセウト考ヘマス、私丈デハ、併シ此事ハ前ニ申シタ兵ヲ練ルト云フコト、又精良ナル兵器ヲ充實スルコトノ大方針ニ就イテ必要ノ點デアルカラ、充分念ヲ入レマシタコトデアリ、再三再四質問モ致シ、書類モ取寄セテ見タ積デアリマスガ、唯今言レル所ニ依ルト、附表ガ變タト云フコトデアリマスガ、中ニ陸軍ノ書類ハ馬ニ一駄許モアツテ、數限リノナイ書類デアアル、夫ヲ一々目ヲ通スコトハ出來マセヌガ、大略當局者ニ就キマシテ充分質問致シタ心得デアツタ、然ルニ先刻政府委員ノ陳述ニ依ルト、多少誤ヲ生ジタコト、聞エマス、去ナガラ陸軍省ノ調ベハ、專ラ現計ニ基キマシタノデ、一方ニハ本年八月三十一日迄ノ現計ヲ取ツテ、又一方ニハ二十三年度ノ現計即チ決算——決算ニハ未ダナツテ居リマセヌガ、取調ヲ致シタモノデアリマスカラ、内譯節目ニ至ツタナラバ、或ハ政府委員ノ申サレル如ク、不都合ガアルカ知レマセヌケレドモ、全體ヲ括メテ兵器彈藥費ト云フ一項目ノ中デ、我慢ノ出來ヌト云フコトハ、萬々アルモイト信シマス、試ニ八月三十一日迄ノ現計ヲ茲ニ讀上ゲマスル、諸君御承知ノ如ク、昨年ノ兵器彈藥費ノ決議ニ百九萬一千四百十圓九十八錢九厘ト云フデアリマス、其中八萬七千八百四十一圓六十錢二厘、之ガ八月三十一日ノ現計デアリマス、茲ニ一寸取落シマシタ、自席ニアル答デアリマスガ、二十三年ハ確カ七十六萬幾千ト云フ現計書ニナツテ居リマス、夫カラ昨年ノ會議ニ於テ兵器彈藥費ハ少シモ減シテ無イ、即チ要求ノ通ニナツテ居ル、此等ノ事實カラ推シテ考ヘテ見レバ、備付ノ彈藥ト云フモノニ對シテハ、今年ノ要求通ニ置カヌデモ宜カラウト云フ一方ノ考ガアリマス、又一方カラ考ヘルト、經常部ノ外ニ臨時ノ部ニ於キマシテ、連發銃ヲ贊成シテ居リマスカラ、連發銃ヲ拵ヘルト共ニ、棉火藥製造ノ事モ是認シテアルデアリマス、政府委員ハ此事ヲ難ゼラレマシテ、棉火藥ノ製造ト云フテモ村田銃ニ之ヲ用ヒルコトハ、出來マセヌカラシテ、一方ニハ棉火藥ヲ拵ヘル事實ヲ以テ、村田銃ニ充ツル所ノ彈藥ヲ拵ヘル費用ヲ減ズルト云フコトハ出來ヌト、是ハ如何ニモ其通ノコトデアアル、少シモ私ハ此言葉ニ異存ハ無イ、唯我々ノ考ヘル所ノモノハ、國家一朝不慮ノ變アル時ニ、備ノ彈藥ト云フモノハ、常ニ拵ヘ貯エテ置カナケレバナリマセヌ、即チ備附彈藥ガナケレバナリマセヌ、之ヲデス、之ヲ今二十九年度マデ連發銃ヲ要求通ニ充實セシムルト云フ方針ヲ取ツテ、其費用ハ棉火藥ノ製造ト合セテ三十四萬圓ノ金額ノ上デ申シマスレバ、之ヲ贊成シテ行ク以上ハ、一方ハ姑息ト言ハレルカモ知レヌガ、命脈ノ絶エルト云フ村田銃ノ爲ニ力ヲ盡スコトハ、我慢ノ出來サウナコトデアリマス、最モ棉火藥ノ事ハ今年翼贊ヲシテモ、直ニ火藥ヲ製造ト云フコトニハ參リマセヌ、來年——二十五年度ニアツテハ其下地ヲ作ル、即チ場所ヲ拵ヘ、其翌年カラ掛ルコトデアリマスケレドモ、一方カラ連發銃ヲ拵ヘタル、又一方カラ之ニ充ツル所ノ棉火藥ノ製造ニ掛ツテ居ルコトデアアルカラ、幾部分ノコトヲ、コチヲノ方デ節シテ置イテモ、一朝事有ル日ニハ、事缺クコトハアルマイ、決シテコチヲガアルカラ、村田銃ノ方ニ用ヒルト云フ様ナ迂調ノ考デハナカッタノデアリマス、出來サウナコトデアアル、又其金額ノ上ニ就イテ申セバ、前申ス通二十三年度ノ現計

書ニ依ッテモ、七十六萬餘ノ金デア、夫カラスレバ大層増シテ居ルコトデアルカラ、ドウカ出來サウナモデア、段々主任者ノ説明ヲ承ゲテ、斯ク判斷ヲ下シタノデアリマス、茲ニ書記シタモノガアリマス、二十三年度ノ現計ヲ讀上ゲマセウ、七十六萬八千四百四十六圓七錢七厘ガ即チ二十三年度ノ現計額デアリマス、夫カラ此事ハ政府委員ガ辯ゼラレタ様デアリマス、各隊士官下士官ノ副員ノコトヲ豫算委員ガ承認シナカッタ、是ハ不都合デアルト言ハレタケレドモ、是ハ如何ニモ承認シマセヌデアリマシタ、ト云フモハ是丈ノ士官ナリ、下士官ナリ缺員ニナツテ居テ都合ノ宜シイコト、ハ思ヒマセヌ、如何ニモ都合ガ悪カラウ、軍隊編制上ニ幾分カ缺ク所ガアラウト見テ居ルケレドモ、物事ハ一時ニ完全シテ居ツタモノデ、一箇月延ルト云フコトニ賛成シテ居リマス、之ガ爲ニ昨年ニ比スレバ、五萬餘圓ノ金ガ増額シテ居リマスデア、一時ニアレモ缺點、是ハ不都合ト回復ヲ望ムト云フハ、財政上六ヶシイコトダラウト思ヒマス、最モ急ヲ要スルモノヲ選ンデ、追舊ニ復スルガ宜カラウト思ヒマス、且ツ又下士官ノ缺員ヲモシタノハ、何ノ目的カラ出來テ居ルカ、如何ナル仕事ヲスル爲ニ斯ク缺員ヲ生ジタカト云フ、一ツノ理由カラ成ツタノデアリマス、一方ハ師團騎兵隊ノ擴張ノ爲ニ定員ヲ減ジテ置キ、一方ニハ連發銃ヲ充實セシムル爲ニ定員ヲ減ジテ居リマス、此二ツカラ成立ツテ居ルケレドモ、主タル所ノ連發銃ノ充實ト云フコトニ附イテハ、別案即チ臨時部ニ於テ更ニ三十二萬餘圓ヲ要求ヲナサレテ居リマス、此目ノ達セヌ先ニ、直ニ又復歸スルト云フコトハ、最初政府ノ當局者ガ見込ラ立ラレタコトニ相反スルコトデア、暫ク其不都合ヲ忍ビテ、コチカラハ錢ヲ出シマス、即チ二十五萬餘圓ノ金ハ年々出シテ、二十九年迄ニ精良ナル連發銃ヲ充實ヲ計ルコトデア、夫丈ハ我慢スルガ宜シイコト思フカラ、此事ハ協賛致サヌデアリマス、夫カラ後ハ屯田兵ノ事ト云ヒ、憲兵ノ事ト云ヒ、政府委員カラ陳ベラレテアルケレドモ、是ハ左程ニ不都合ト述ベラレマセヌガ、又査定致シタ所ノ方針モ、外ノ事ト、コトトシテ違フ事ハナイ、唯本省ト云ヒ、憲兵ト云ヒ、屯田兵ト云ヒ、多イト思フ金ヲ減シ、俸給ノ上ニ於テ金ヲ減ラシタニ止ルカラ、細カイトハ御質問ガアレバ、御答シマスガ、餘リ長クナリマスルデ、私ガ豫算委員長ニ代ッテノ辯明ハ、是デ宜カラウト思ヒマス

(政府委員陸軍省經理局長陸軍監督長野田幹通君演壇ニ登ル)

○政府委員(野田幹通君) 唯今駒林君ノ御説明ニ依リマシテ、尙ホ諸君ノ御參考ニ一言申陳ベテ置キマス、兵器費ナリ、廳費ナリ、減額ヲ致サレマシタル所ノ目的ハ、二十三年度ノ現計書及二十四年度ノ八月三十一日迄ノ現計書ヲ參酌セラレタコト云フコトデアリマス、然ルニ兵器費ハ工廠ノ製造ニ係ルモノデアリマス故、製造ノ都合ニ依リマシテハ、其年度ニ要シマシタル所ノ金額ヲ、皆支拂ハ出來ナイト云フ場合ヲ生ジ、或ハ一旦製造致シマシテモ、檢査ノ上ニ尙ホ不十分ナル所ヲ改造スル様ナ場合ヲ生ジマスレバ、其年度ニ金額ヲ支拂フコトハ出來マセヌ、故ニ此兵器彈藥ハ協賛ヲ得マシテ、年度ヲ繰越スコトニシテアリマス、其年度中ニ金ガ拂ツテナイカラ入用テナイト云フ元來品物デアリマス、廳費ト云フ様ナモノハ、其年ノ需要品ニ對スル所ノ支拂デゴザリマスカラ、殘金ガアリマスレバ、其年度ニ入用テナイト見認メルモ

或ハ可ナリ、併シ兵器彈藥ノ如キハ、元來兵員ノ割合ヨリ兵器ノ使用高ヲ割出シ、而シテ年々何挺、彈藥ハ幾干ト云フコトヲ定メタル所ノ計畫上ヨリ成立タモノデアリマス、之ヲ減シマスルトキハ則チ兵備上ノ完全ヲ缺クト云フコトニナリマス、又二十四年度八月三十一日迄ノ現計書ハ、大藏省ニ纏マツテ居マス所ノ恐ラク現計書ニ依ッテ調査ヲセラレタモノデアリマセウト思ヒマスガ、此八月三十一日ノ現計書ト云フモノハ、實際八月三十一日迄ノ支拂ニ係ルモノデアリマセヌ、夫ハ大藏省ニ其報告ガ届イタモノ丈ヲ揭ゲデアリマス、故ニ現ニ著手ニ掛ツテ居ル兵器ト申シマシテモ、方面ノ檢査濟ノ上受取リタルモノ、ミニテ、未ダ代價ヲ拂ハナイモノハ現計書ニハ現レマセヌ、故ニ此八月三十一日迄ノ現計書ヲ以テ其年度ノ殘月ニ對スル所ノ支拂ヲトスルト云フコトハ、恐ラク不十分デアルト存ジマス、又廳費ノ如キハ三箇年ノ實費ヲ見マスルニ、上半箇年ノ費用ハ總額ノ凡ソ三割餘、下半箇年ノ實費ハ六割餘ト云フハ、三箇年ノ實費統計上ノ比例ニナツテ居リマス、如何トナレバ廳費ノ如キ薪炭料等ノモノガ多ク這入ツテ居マスカラ、上半期ト下半年期ト云フモノハ、大ニ支拂ガ多少ノアルモノデアリマス、然ルヲ八月三十一日迄ノ現計書ヲ參照セラレタコト云フハ、參照ノ不十分デアルト云ハナケレバナラヌ、是ハ一言御參考ニ供シテ置キマス、又兵器彈藥ノ點ニ於キマシテ唯今駒林君ヨリ御説明ニナリマシタ所ノ點ハ、一應御尤ナル御考ト存ジマス、併ナガラ是ハ兵器ノ大體ニ御分リナイト云ハネバナリマセヌ事情ガアリマス、村田銃ハ連發銃ガ五箇年ノ後完成シタナラバ、不用ニ屬スルカタ云ハバ、決シテ不用ニ屬スルモノデアリマセヌ、是ハ連發銃ガ完成シタナラバ、即チ是ハ豫備軍等ノ給與ニ充テ、行カネバナラヌモノデアリマス、然ルニ連發銃ガ一方ニ於テ五箇年ノ後ニ完成スルノ協賛ヲシタニ依ッテ、最早目途ガ立テ居ルノニ、今日村田銃ノタメニ補充ヲ年々拵ヘルニモ及バナイ、夫ニ對スル所ノ彈藥ヲ拵ヘルニハ及バナイト云フ様ナ唯今御説明ニ伺ヒマシタガ、是ハ甚ダ御同意ガ出來兼ネル點デアリマス、五箇年ノ間、村田銃ノ年々補充ヲ止メ、村田銃ニ要シタル所ノ彈藥ヲ止メマスレバ、一方ニ向イテハ連發銃ガ五箇年ノ末ニ完成シマシテモ、一方ニ於テハ夫ニ伴フ所ノ大ナル缺點ガ軍備上ニ生ジテ參リマス、即チ村田銃ノ補充ヲ五箇年ノ間ニ三十六萬圓餘ノ品シカ出來ナイ、彈藥ハ二十萬圓程ノ彈藥ノ缺乏ガ出來ト云フ次第ニナリマス、陸軍省ハ連發銃モ今日要求シテ居リマス挺數デハ、決シテ満足デハアリマセヌ、今要求シタル所ノ連發銃ガ完成シマシタ上ハ、尙ホ少クモ二十萬挺ノ連發銃ハ諸君ノ御協賛ヲ得テ、製造セネバナラヌト云フ目的ヲ抱イテ居ルノデアリマス、故ニ一方ニ向イテ連發銃ヲ協賛セラル、タメニ、村田銃ノ補充ヲ止メ、又其彈藥ノ製造ヲ止メルト云フ點ニ就キマシテハ、ドウカ御熟考ノ上ニ裁決アラントラ幾重ニモ希望致シマス

○堀江芳介君(八十四番) 私ハ一寸質問致シタイ

(堀江芳介君演壇ニ登ル)

○堀江芳介君(八十四番) 此兵器彈藥費ハ兵器ノ修理ノ費用ガ見エヌ様デゴザイマス、是ハ兵器彈藥費ノ中ニ籠ッテ居リマス、兵器ノ修理費ト云フモノハ見エナイ様デアリマスガ、是ガ一點——マア夫——夫カラ年々十分ノ一ノ補充ト云フコトハ、夫ハ現場サウシテアリマス、本員ノ考ヘル所ニ於キマシテハ、餘程補充ガ多イモノ、様ニ考ヘマスガ、是ハ多分ノ補充ト思ヒマスガ、果シテ左様デアリマス、果シテ左様ナラバ、本員ハ餘程損シ安イ様ニ思ヒマスガ、モウ一應此ニツツ……

(政府委員陸軍省經理局長陸軍監督長野田諭通君演壇ニ登ル)

○政府委員(野田諭通君) 堀江君ノ御問ニ御答致シマス、兵器ノ修理ノ重ナルモノハ、唯今御尋ノ通兵器ハ兵器費ノ中ニ含有シテ居ル、彈藥費ハ彈藥費ニ含有シテ居リマス、夫ハ前年度ニ對スル増減差引ノ所ニモ、修理ノ増加云々ト云フコトモ、此要求書ニ書イテアリマス、其細部分ハ如何ナル割合ニナツテ居ルカト申シマスレバ、各目明細及其附表ニハ此幾分ノ修理、其費用ハ幾ラト云フコトモ明瞭シテ居ル答デゴザイマス、又軍隊ノ兵器諸費用ト云フモノハ、御承知ノ通幾分ハ軍隊費ノ中ニモ這入ッテ居リマス、又十分一ノ補充ハ、先刻モ辯明致シマスル通、今日軍隊及學校ノ生徒ニ給與シテアル所ノ、日々使用シマス所ノ銃ニ對シテ、十分一ツ、ハ年々之ヲ新調シテ、其破損ノ修理ニ供スル規定ニナツテ居リマス

(中村榮助君演壇ニ登ル)

○中村榮助君(二百三十八番) 再應此陸軍ノ經費ニ附イテ政府委員ガ辯明サレマシタコトニ附イテ、尙ホ一言致シテ置キタイト思フ、既ニ五科ノ主査ガ委シク述ベラレタ通、此調ニ附イテハ昨年ナリ、今年ナリ、議會ノ興望ニ決シテ反シタル方針ヲ取ツタノデハナイ、夫デ此十九年來——十九年ニ編制ニナリマシタ所ノ方針ニ微ツテ、之ヲ査定シタルモノデアツテ、先刻來政府委員ノ述ベラル、如ク、或ハ此二十六年度ニ至ツテ、近衛諸圖ヲ中途ニシテ止メルト云フ様ナコトガ起リハシナイカト云フ様ナ杞憂ハ決シテ中イノデゴザイマス、尙ホ此費用ノ減シタル理由ト云フ様ナハ、各所ノ此傳給額或ハ其他ノ査定ニ當テ得ル様ニ査定シタル所ノコトニ重ニ依ル譯デアツテ、或ハ其述ベラレマシタル所ノ要塞砲兵ノ此砲臺ガ建築ニナツタ上ハ、之ニ伴フ所ノ費用ハ毫モ減ジテハナイノデアアル、即チ原案ノ通之ヲ認可シマシテ、サウシテ各科款項ニ於テ減ズベキ所ノモノハ減シ、削除スベキ所ノモノハ削除シテ、査定シタル譯デアリマス、此事ニ附イテモ一向差支ナイノデアアル、尙ホ又兵器彈藥ノコトニ附イテハ、再應御說明モアリマシタガ、要スル所此五箇年ノ末ニ村田銃ヲ兵士ニ分ケ與ヘルコトガ出來ナイト云フニ止マル、其邊ハ一方ニ連發銃ノ近頃進歩シタル所ノ完全ナル所ノモノヲ、充分協賛シテアル以上ハ、此等ノコトハ暫ク辛抱シテ貫ヒタイト云フノデ、査定シタル譯デアリマスカラ、決シテ是ハ大ニ差支ガ生スルト云フコトハナカラウト思ヒマス、尙ホ又各項目ニ附イテ續々述ベラレマシタガ、大體此官省ノ費ト云フモノハ、聯隊ヨリ割出シタル費用ガ多イ、夫ハ素ヨリ此現員ハ要求ノ人員ト差ガアツテ、述ベラレタ程ノ差支ハナイ——餘裕ガアル、夫故ニ實際此査定案ガ確定ニナリマシタ所ガ、大ニ差支ヲ見ヌト言フノガ、我々ノ査定シタル所ノ精神デアリマス、且ツ又此廳費ニ於テ或ハ年來此段々減シテ來テ居ル——本省ノ如キ五分、或ハ軍費ニ於テ一割、憲兵費ニ於テ二割五分モ減シテ居ルト云フ御

説明ガアリマシタガ、如何ニモ此陸軍省ノ廳費ノ如キハ年々減シテ居リマス、是迄隨分廳費ニ於テモ濫費ト云ツテ宜シイカ——餘裕ガアツタモノト云ツテ宜シイ、將來ニ於テ或ハ之ヲ節減スベキモノハ節減シ、減得ラル、丈ノモノアリタルト云フ見込ガアル、且ツ又主査ノ述ベラレマシタ通、八月三十一日ノ現計書ニ依リマス、六十一萬二千餘圓ノ配當額ノ中カラ、漸ク九千二百圓許支出シテ居ナイ、僅ナ金額、二割以內ホカ支出シテ居ナイト云フ様ナ有様デアアル、夫故ニ此陸軍ノ豫算ノ上ニ於テハ、他ノモノニハ精密ナル調査ガアルガ、廳費以下ニ餘裕ガアルト云フコトヲ、我々査定スルトキ認メマシタカラ、此減額ヲ致シタル譯デアリマス、ドウゾ此査定ニモ信用ヲ得テ、通過スル様ニ我々ハ希望スルノデアリマス

(決ヤト呼ブ者アリ)

○堀江芳介君(八十四番) モウ一ツ政府委員ニ伺ヒマス、此馬匹ハ現役ノ兵ニノミナラメデアリマス、或ハ後備軍ノタメニ引當テ、置クタメニ……是ハ全ク現役丈ノモノデアリマス、又馬匹ノ養育所ニ於テ年々養ッテアルモノハ、是ハ豫備後備ノタメニ引當ニナルモノカ、夫ヲ承リタイ、外ニハ馬ノアテモナイ様ニ思ヒマス、一寸質問シマス

(政府委員陸軍省次官岡澤精君演壇ニ登ル)

○政府委員(岡澤精君) 堀江君ニ御答シマス、育成所ノ馬ハ二歳ノ駒ヲ買ヒマシテ、大凡五歳ニナル迄育テマシテ、サウシテ現役ノ隊ニ渡スノデス、夫デ其馬ハ從前ハ七分の一ツ、年々補充シテ往キヨツタノデス、所ガ色ニ育成所デモ飼養ニ手段ヲ盡シテ、此二十五年カカラハ、八分の一ツ、隊ニ渡シテ往クト云フコトニナツテ居リマス、尙ホ馬數杯ノコトニ就キマシテ、御入用デゴザイマスナレバ、委シク取調ベマシテ、表ニデモシテ差出シテ宜シウゴザイマス

○堀江芳介君(八十四番) 其御調ハ定テ就イテアリマセウカラ、其御調ヲ御廻シ下サル様ニ願ヒマス

○政府委員(岡澤精君) 承知シマシタ

○堀江芳介君(八十四番) 代價ニ就イテノ平均ノ御調モアリマセウカラ……夫カラ現役ノ兵ニ要スル所ノ分ガ幾ラト云フコトモ分リマスレハ……

○政府委員(岡澤精君) 委シク調ベマシテ、御廻シ申シマス

○議長(中島信行君) 陸軍省第一款第二款ノ決ヲ採リマス、豫算委員ノ修正案ニ賛成ノ諸君ハ起立

起立者 多數

○議長(中島信行君) 多數……モウ一遍陸軍ノ決ヲ採リマス、第三款第四款第五款豫算委員ノ報告ノ修正案ニ賛成ノ諸君ハ起立

起立者 多數

○議長(中島信行君) 多數……次ニ移リマス、海軍省所管ノ全體ヲ問題ニ附シマス、例ニ依ツテ朗讀ハ省略シマス

(海軍大臣子爵樺山資紀君演壇ニ登ル)

○海軍大臣(子爵樺山資紀君) 海軍ノ經常部ノ大體ニ附キマシテ、一言ヲ述ベマス、併セテ臨時部ノ新事業ノコトニ附キマシテ、概略意見ヲ陳述致シマス、少シ問題外ニ涉リマス、海軍ノ經常費ニ附キマシテモ、昨年來隨分當局者ニ於キマシテハ勉強シマシテ、節減シタ積デゴザイマスガ、然

ルニ又今年尙ホ精々調査ヲシマシテ、節減ノ出來ル丈節減シテ、乃チ要求書ヲ差出シテ譯デゴザイマス、ユ一此本省費ニ附キマシテモ、軍事費ニ附キマシテモ、丁度同一ノコトデゴザイマス、然ル處ニ此査定案ト申シマスルノニ、三十四万八千圓餘ト云フノ節減ニナリマシタ、隨分海軍省ノ此組織上十六年此方、再三及ビマシテ、人員ノ節減其他改正ニ改正ヲ加ヘタコトハ、皆サソガ御承知下サルコトデゴザイマス、夫程當局者ニ於キマシテ斯ク迄務テ節減シタ上ニ、又今年斯ノ如キ經常部ニ附キマシテ、三十四万六千圓餘ト云フモノヲ減セラレマシテハ、到底海軍ニ於テ夫丈減ズルノ餘地ヲ保ツコトガ出來マセヌデゴザイマス、誠ニ困タモノデゴザイマス、殊ニ此臨時部ノコトデゴザイマス、是ハ今日ハ今豫言シテ置イタ通、豫算外ニ涉リマヌガ、少シ能ク聽イテ下サイマセヌカ、此方デ五十一万六千圓餘ト云フモノノ節減ヲ受ケマシテ、即チ此五十六万餘ノ金員ノ中ニ今年本大臣ガ請求シマシタ巡洋艦——二千四百噸ノ巡洋艦一艘ト千八百噸ノ報知艦一艘ノ費用ト、夫カラ製鋼所設立ノ費用デアリマス、此兩件ノ合計金ガ五百万圓デアリマス、其五百万ノ金員ノ内デ、即チ二艘ノ軍艦ノ製造費ト申シマスルノガ二百七十五万圓デアリマス、費用ガ二百二十五万圓、都合即チ五百萬圓ノ金額ニナリマス、其他ニ此臨時部ニ於キマシテ、横須賀鎮守府泥浚船費ヲ請求シマシタガ、此金員ガ十二万圓デアリマス、所ガ此内モ幾分カ省減セラレマシタガ、本大臣ノ要求シマシタ通ニ、先ツ製造ノ出來ナイコトハナイ様ニ至ルデアラウト考ヘル、然ル處此軍艦製造費、製鋼所設立費、此點ニ於キマシテハ飽迄モ豫算委員會ニ於キマシテ拙者ガ今日必要ナル點ヲ逐一陳述シテ置キマシタガ、自然速記録ニ依ッテ皆御承知下サレタト思ヒマス、然ル處今此二件共ニ削除セラレ、コトニナリマス、誠ニ本大臣意外ナコトニ考ヘマス、所デセラフ理由ニ依ッテ斯ノ如ク必要ナル軍艦ノ製造、製鋼所、此二件ヲ削減セラレタト云フ理由ヲ、本人ガ能ク了解シマセヌ、然ニ委員會ニ於テ百五十番杉田定一君ノ御説ニ、海軍省ノ常備艦ノ艘數ガ甚ダ多ク、海軍省ノ不經濟ヲ來スト云フ、斯ウ云フ御説明ガ政府委員ニ對シテアツタコトヲ承ツテ居リマス、何故ニ常備艦ノ艘數ガ多イト云フコトノ御意見デアリマセウカ、昨年即チ當議會ニ於キマシテ海軍ノ大體ノ方針、且ツ今日本省ノ役務ノ事ヲ逐一拙者ガ陳述シテ置キマシタコトハ、本日皆サンモ御記憶デアリマセウ、然ルニ昨年ハ大層海軍ノコトニハ進路ガ能ク立チマシタガ、今年ハ海軍ノ進路ニ少シク積霧ノ懸シタ様ナ心持ガアリマス、必ズ後日青天白日ヲ得ルデアラウト信ジテ居リマス、然ルニ此二艘ノ軍艦デゴザイマス、之ヲ今年製造シマセヌケレバ、即チ此三十年度ニ至ル迄現在ノ軍艦ガ勢五千噸ヲ減スル場合ニ至リマス、定テ五千噸モ減シテ宜シカラウト云フノデ削減ニナツタノデゴザイマセウ、昨年拙者ガ役務ノ事モ陳述シマシタガ、此事ハ水泡ニ屬シタ譯合デ、甚ダ遺憾ノ至リデゴザイマス、所デ此製鋼所デゴザイマス、皆サンガ御承知ナサル、通、日本ニ於テチルハ十分ナル成績ガゴザイマス、サウデゴザイマセウ、所デ此製鋼ニ就キマシテハ、本大臣ガ積年痛苦ニ堪ヘナイ、ナゼ痛苦ニ堪ヘナイカト云フト、即チ今日軍隊ノ軍備ノ獨立ガ立タスト云フノガ、本大臣ノ痛苦ニ堪ヘナイ次第デゴザイマス、依ッテ從來海軍ニ於テ、即チ頻ニ製鋼所ト申スモノヲ設立シマシテ、夫デ獨逸ノくる一ト云フ法ノ製鋼ヲ試製シテ見マシタ、所ガ餘程宜シイ結果ヲ得タノデアリ

マス、從ッテ海軍ノ使用シマスル即チ野砲ト申シマシテ、陸軍デハ山砲ト云フ類デゴザイマス、夫ハ機關砲ト申シマシテ、のるでんへると砲ト云フ大砲ト小銃ノ半ニ立ツ連發銃デゴザイマス、此ノ如キ兵器ニナリマシテハ、即チ今ノ製鋼所ニ於キマシテ、製造モ十分ニ出來ル様ニナリマシタ、ナリマシタガ、又くるじぶるト云フ鋼ノ性質ハ至ッテ緻密ニシテ、大砲ノ其他ノ器械ニハ適當ナル性質ヲ帶ビテ居ルモノデアリマス、ケレドモ、艦船ノ材料、大砲ノ材料、橋梁ノ材料其他鐵道、此ノ如ク今日ハ鋼ヲ以テ大キナ事業ヲシマスカラ、此くるじぶる式ノ鋼ハ間ニ合ヒマセヌ、依ッテ皆サンモ御承知デゴザイマセウガ、現今英佛其他ニ於テ皆海軍ノ材料ヲ購求シマス、其材料ノ性質タルヤ志いぬんず式ト云フ法ノ中デアリマス、是ハ即チ其一ツニ就イテ十二噸或ハ八噸或ハ七噸ト云フ如キノ多量ノ鋼ヲ製スルモノデアアル、即チ此海軍ニ於テ計畫シマシタ即チ製鋼所ノ主義タルヤ、今ノ即チ此志いぬんず式ノ鋼ヲ製造スルト云フノガ目的デアアル、所デ御承知ノ通ニ、此海軍ニ於キマシテ造砲ノ技術官、造船ノ技術官、悉ク完備シテ此造船等ニ於テハ、今日如何様ナ船ヲ製造セヨト云フコトヲ皆サンガ御注文ナサレタモ、毫モ不充分ナル點ハゴザイマセヌ、材料サヘアル以上ハ、ドンナ堅牢ナル船デモ製造スルコトガ出來ルノデアリマス、然ルニ此材料ヲ即チ製造スル其技術官ト云フ者ヲ、海軍省デ養成シテ居ルト云フ譯合モナシ、又使用シテ居ルト云フ譯合モナシ、一人タリトモ斯ノ如キ技術官ガ海軍ニ在職シテ居ル者ハゴザイマセヌ、依ッテ此事ニ就キマシテハ、全體官設ニ斯ノ如キ製鋼所ヲ設ケルト云フノハ、甚ダ不得策デアアル、故ニ資力アル人民ニ屬スルガ至當ナモノデアアル、我政府ニ於テモ、何處マデモ此材料ノ出來ナイコトハ日本ニ於テ缺點デアリマス、是非資力アル人民ニ屬スル如キ事業ヲ喚起スル様ナコトニシタイト云フ趣意デ、アル人ニ餘程誘導モシマシタ、シマシタガ如何様ナ思想ヲ帶ビマシタカ、半途ニシテ謝絶シタ様ナ譯デ、夫故ニ政府ニ於テモ如何トモ今日スルコトガ出來ナイ、然ラバ之ヲ優柔不斷ニシテ置クト云フコトニナツタハ、遂ニ交通閉塞ノ場合ニナツタ、如何シテ我此海軍陸軍ガ十分ニ兵器ヲ使用スルコトガ出來ルカ出來ナイカト云フコトハ、誰モ分ツタ話デアアル、依ッテ此上ハ仕方ガナイ、斷然政府デアル、斯ウ云フ即チ詮議ガ起リマシタ、故ニ第一ニ其材料ヲ使用スル者ハ誰デアアルカト云フト、即チ本大臣ガ十分ノハ占メルト斯ウ云フ場合ニナリマス、依ッテ今日此調査ニ關係スル様ニト云フ、即チ内命ヲ受ケマシテ、サウシテ海軍デ今ノ様ナ技術官ハ居マセヌケレドモ、先ヅ今日造船科ナリ、造船科ナリト申スモノガ、自ラ其材料ヲ使用スレバ、從ッテ其材料ノ性質ノ分ルノハ當然デアアル、其上各國ニ皆……出テ實際ノ經驗モアル故ニ、自分ガ之ヲ擔當シテ一應調査シテ、サウシテ深ク詮議ヲ盡シタ上ニ、政府ノ方針ヲ決シタラ宜シカラウト云フ意見デ、海軍デ即チ調査ヲ起シテ、サウシテ夫ヲ政府ニ提出シタ譯合デアアル、然ルニ此事タルハ獨リ海軍ノミナラズ、即チ陸軍其他公衆一般ノ工事上ニ必要ナル材料デアアルカラ、十分政府ニ於テモ其詮議ヲ盡シタ上デナイト云フト、万一初步ニ過リ生ズレバ、將來再ビ之ヲ喚起スルト云フゴトガ出來ナイト云フ意デ、サウシテ政府ニ於テ十分學問モアリ、或ハ實驗モアル汎ク其人ヲ求メテ、集合シテ、サウシテ一ノ委員ヲ設ケテ、サウシテ十分ニ調査ヲサセタ、十分ニ調査ヲサセタ所ガ、拙者ガ提出シタ意見ト大同小異デアツテ、格別サウ變タコトモナイ、又技術者

ニ於テ一人トシテ之ガ出來ナイト云フ者ハナイ、出來ルト云フコトハ皆何處
マデモ認定シテ居ル、ソコデ先ヅ政府ニ於テ是ハ今年躊躇スル場合デハナイ
ト云フコトカラシテ、海軍ニ於テ之ヲ擔當セヨト云フコトノ内意ヲ受ケマシ
テ、拙者モ是ニハ實ニ困ラヌデモナカッタ何故ナレバ今海軍ノ事業ト云フモ
ノハ、船ヲ造リ鎮守府ヲ作り、其工事實ニ頻繁、夫ニ加フルニ拙者ニ斯ウ云
フ工事ヲ擔當サセルト云フコトハ、實ニ自分ノ手足ノ運轉ガ出來ナイト云フ
様ナモノデアアル、去リナガラ是ハ陸軍トカ、農商務省トカ、何處トカ云ッテ
モ、到底今日ノ官制ニ依ルト云フコト、何處デモ擔當スベキ筈ガナイ、兎モ
角是ハ海軍ハ材料ノ多量ヲ使用スルカラ、海軍デヤラナケレバイケナイト云
フカラシマシテ、タウ、拙者ガ之ヲ擔當スルコトニナッテ、即チ此議場ニ提
出シテ譯デアアルデアアル、万一此海軍ノ艦船ガ過ヲ生シ、或ハ事ヲ生ジタ
マニ、一丸ニ船腹ヲ通サレルト云フ様ナコトガアリマシテハ如何シテ其穴ヲ
塞グコトガ出來マセウカ、折角從來當局者ガ刻苦シテ、是ハ完全ニ追、準備
シ折角海軍ノ海軍タル勢力モ附カウト云フ際ニ、其材料ガ乏シクシテ、其
機械ガアルト云フデモ、悉ク無効ニ屬スルト云フコトニナルデハナイカ、併ナ
ガラ夫ハ幾分カ平生豫備材料ヲ購求シテ置イタナラバ、夫デモ宜シカラウ
ト云フ御説モアルカ知リマセヌガ、夫デハ何時マデモ日本ノ軍備ノ獨立ト云
フモノハ立タナイト云フコトニナラネバナラヌ、恰モ軍備獨立ガ立タナイト
云フコトニナリマスルト云フト、彼ニ兵器ヲ借ッテ、彼ヨリ兵器ヲ與ヘラレ
テ、戰リセヤウト云ハナ計リノ話デアアル、夫ガ毀損シタ時ニハ、何モ取替ガ
ナイト云フ話ノコトデアリマスガ、所デ此製鋼所ノ事ニ就キマシテハ、其組織
上ト云ヒ、其製造ノ目的ト云ヒ、程度ト云ヒ、皆調査書ヲ豫算委員ニ提出シテ
置キマシタカラ、是レ以テ皆様モ御覽下サレタデアリマセウ、本日逐一夫ヲ
陳述シマスルト云フト、大變時刻モ費ヘマスカラ省イデ置キマス、奴斯ノ如
キ必要ナルモノヲ削除セラル、何ノ理由デアラダラウ、ドウモ此當局大臣
ニ於テ一向分ラナイ、然ルニ豫算委員ノ御説明ニ、海軍ハ常備艦ガ多イカラ
不經濟デアルト云フ點カ、或ハ海軍ハ何カ不整理カ不整頓ナコトガアルトカ
云フ譯合デ、斯ノ如キモノヲ削除セラレタモノカト勘考シテ居ル際ニ、上奏
案ト云フモノヲ一見シマシタ、果シテ斯ノ如キ故海軍ノ今日少シク方針ニ
雲霧ガ掛ツタト云フコトヲ看破シタデアアル、驚イタコトデアアル、是ハ今日
問題外ノ事デアリマスガ、此凡ソ十二件其廉ガアルカラ申シマセヌガ、其十
二件一トシテ事實ヲ得、今日海軍ノ戰術戰略ヲ基礎トシテ、兵略ヲ立テル所ニ
由ッテ基イタモノデモナイ、ドウ云フ兵學ヲ學ハレタ御方ノ御意見デアアル
カ、一向分ラナイ、剩ヘハ人ノ登用上マデモ想像説ガ入ッテ居ル、虛妄ノ甚シ
キモノト見ル、夫ニ依テ見ルト云フト、海軍大臣ハ二十年來一億千萬圓ノ金
ヲ費ヤシ、其效績甚ダ不充分デアアル、私モ先祖代ノ事ヲ取ッテ、一人デ今日
ヤリマスガ、誠ニ愉快ナコトデアリマス、二十年來ノ事ヲ一人デ擔當シ
テヤリマシタ、誠ニ生前ノ面目デアリマス、自ラ此上奏案ト云フモノハ、此日
程ニ上リマセウ、併ナガラ御無理モナイコトモアラウト考ヘルノデアリマ
ス、兎モ角モ海軍ノ事ナリ、陸軍ノ事ナリ、其他一般ノ事ナリ、皆御質問ニ
ナリ、御意見ノ出ル所多クハ其部ノ人ニ就イテ、種々御見聞ガアッテコソ、
御質問ニナルコトシヤラウト考ヘル、夫デ能ク將來皆様ガ御考ヘ下サラネバ
ナラヌコトハ、海軍省內ノ中ニ於テモ、各、其主務ガ違フ、各、其意見ガ違

フ、其海軍ノ定論ト云フモノハ、即チ各個意見ノ違ッタモノヲ集合シテ、其
純真ナル所ヲ取捨シテ定ムルノガ、即チ海軍大臣ノ定見デス、即チ海軍ノ論
ト云フモノダ、人ト云フモノハ各、性質ガ異ナッテアルカラ、十八寄レバ十
人違フ、又違フガ當リ前デアアル、能ク斯ノ如キコトハ其當局者ニ御質問ナサ
レ、其全局面ニ通ジテ居ル者ヨリ、能ク御承知ナサレヌト云フト、一ヲ開イ
テ二ヲ知ラナイト云フモノガ多イデアアル、所デ先ヅ海軍デ二十年來一億千万
圓ノ金ヲ使ッタト唯今日何カ鎮守府ヲ拵ヘタトカ、船ヲ拵ヘタトカ、サウ云
フコトノミ汲々トシテ一億千万圓ノ金ヲ費スト云フ様ナ御考ドモデハ、少シ
ク御意見ノ違フコトガ怪シム、一億二千万圓ハ何々ノ筋ニ使ッタト云フコト
ヲ書イテ、御書キ下サルト、本大臣モ大變本懷ニ堪ヘナイコトデアアル、皆
サンモ御承知デゴザリマセウ、明治二年ハ何ノ役デゴザリマシタラウ、明治七
年ハ何ノ役デゴザリマシタラウ……
○菊池侃二君(四十六番) 上奏案ニ對シテ大臣ガ彼此言フハ不當ノ事ト考ヘ
マスカラ、御差止ヲ願ヒマス
○海軍大臣(子爵樺山資紀君) 御待ナサイ、私ハ問題外ノ事ハ申シマセヌ
○菊池侃二君(四十六番) 上奏案ニ對スル事ハ問題外デアアル、今ハ豫算會議
デアアル、陛下ニ對スル上奏案ニ向ッテ
○海軍大臣(子爵樺山資紀君) 大臣、政府委員ト云フモノハ、イツ何時デモ
コ、ニ出テ演説スルコトヲ許サレテ居ル
(此時發言ヲ求ムル者多シ議場騷然タリ)
○菊池侃二君(四十六番) 議長ニ求ムル、大臣ト問答ハ致サナイ
○海軍大臣(子爵樺山資紀君) 夫ハ最初カラ自分ハ斷リヲ申シテ置キマス、
問題外ニナリマスト申シテ置キマシタ
○菊池侃二君(四十六番) 大臣ト問答ハ致サナイ
○海軍大臣(子爵樺山資紀君) 最初ニ言ッタ時ニ默シテ聽イデ置イテ、半
途ニ至ッテ彼此云フハ、何ノ故デアアル、一向分ラヌ、ナゼ夫ガ自分ガ一言發言
シタ時ニ御止メナサラヌカ
○蒲生仙君(百七十八番) 議長ハ何ヲ以テ議場ヲ御整理ナサル
○議長(中島信行君) 暫ク御待ナサイ、暫ク
○海軍大臣(子爵樺山資紀君) 夫デ明治七年ハ何ノ役デアッタ、明治九年ハ何
ノ役デアッタ、明治十年ハドウ云フ役デアッタ、明治十五年ハドウ云フ役デ
アッタ、明治十六年ハドウ云フ役デアッタ、此ノ如キ事ノ事件ニ於テ
○蒲生仙君(百七十八番) 問題外ハ議長ニ於テ御差止ヲ願フ
○議長(中島信行君) 問題外ト云フコトハ、豫メ……
○國務大臣(子爵樺山資紀君) 國體ニ對シテ、ドレ程……國權ヲ汚シタ事
ガアルカ、サウ云フ今日事業ヲ見ズニシテ置イテ、徒ニ唯目前ノ事ヲ以テ一
億二千万ヲ使用シタト云フハ(問題外ト呼ブ者アリ)本大臣ニ於テ意外千万ノ
事デアアル、サウ云フ事ヲ以テ、今日海軍大臣ガ不信用ダト云ッテハ、斯クテ
ハ却テ事ノ事實ヲ損ヒ、事ノ即チ虛妄ノ事ヲ連ネテ、海軍大臣ガ不信用デ
アルト云フノハ、自ラ不信用ヲ招クノ所以デハナイカ、分ッタ話デアアルジ
ヤラウ、ソコデサ今日此新事業ノ新事業ニ於テ削除セラレタト云フ如キ
ハ、此ノ如キノ事件ヨリ起レリ、此ノ如キ事由ニ依ッテ削除スルト云フコトナ
レバ、本大臣ニ於テ遺憾千萬デアアル、此何同ノ役ヲ經過シテ來タ海軍デアッ

テ、今迄此國權ヲ汚シ、海軍ノ名譽ヲ損シタ事ガアルカ、却テ國權ヲ擴張シ
海軍ノ名譽ヲ施シタ事ハ幾度カアルダラウ、四千万ノ人民モ其位ノ事ハ御記
臆デアルダラウ、先日井上角五郎君ガ四千万ノ人民ハ八千万ノ眼ガアルト云
フタ、四千万ノ人民デ今日幾分力不具ノ人ガアルト見テモ、千万人ノ眼ハア
ルダラウ、其眼ヲ以テ見タナレバ、今日海軍ヲ今ノ如キ事ニ見テ居ル人ガア
ルデアラウカ(アル)ト呼ブ者アリ、此ノ如ク今日此海軍ヲミナラズ、即チ
現政府デアアル、現政府ハ此ノ如ク内外國家多難ノ艱難ヲ切抜ケテ、今日迄來
タ政府デアアル、薩長政府トカ何政府トカ言フテモ今日國ノ此安寧ヲ保チ、四
千万ノ生靈ニ關係セズ、安全ヲ保ツタト云フコトハ、誰ノ功カデアアル(笑
聲起ル)甚タ……御笑ニ成ル様ノ事デハゴザイマス、ドレ程殘レ且ツ
廢疾ニ成リ、實ニ泉下ニ對シテ我輩死シタ時ニハ面目ガナイ、夫ニ依ッテ
今ノ即チ此軍艦製造費、此製鋼所設立ノ件ニ就イテ、此ノ如キ理由ヨリ削除シ
タト云フ事ナレバ、本大臣ニ於テ決シテ……不満足ニ考ヘル、他ニ理由ガア
レバ宜シ、能ク御分リニナリマシタラウ

○議長(中島信行君) 海軍大臣ニ一寸申シマスガ

○海軍大臣(子爵樺山資紀君) 趣意ノ起ル所ヲ唯今申シタノデアアル

○議長(中島信行君) 海軍大臣ニ申シマス

○此時議長號鈴ヲ鳴ラス

○海軍大臣(樺山資紀君) 諸君ヨ、諸君ヨ

○此時議長號鈴ヲ鳴ラス

○議長ノ命令ニ從ハヌカト呼ブ者アリ

○無禮千萬ト呼ブ者アリ

○海軍大臣ニ退場ヲ命セヨト呼ブ者アリ

○帝國議會ヲ何ト思フト呼ブ者アリ

○退場セヨト呼ブ者アリ 議場喧騒ス

○議長又號鈴ヲ鳴ラス

○海軍大臣演壇ヲ降ル

○議長(中島信行君) 靜ニ

○角田眞平君(二百四十一番) 海軍大臣ノ演說ニ質問ガアル

○議長(中島信行君) 靜ニ、議長ハ申ス事ガアル(譁聽々々ト呼ブ者アリ)今日
ハ此豫算案ハ四時迄ノ議事日程デアアル、然ルニ海軍大臣ハ海軍一般ノ事ニ就
イテ發言ヲ求メラレタニ依ッテ……蓋シ此場合ニ於テハ諸君ニ於テモ固ヨリ海
軍省ノ豫算案並ニ海軍大臣ノ演說ヲセラレタル事柄ニ就イテハ、多少ノ御意
見ガアラウト考ヘル、或ハ十分ニ此問題ニ就イテ、御意見ヲ叩カレタラ宜シカ
ラウト考ヘルカラ、本日ハ豫算案ヲ四時迄ノ議事日程ト定メタニ拘ラズ、此問
題ニ就イテ續ケテヤル事トスル……是丈ノ事ヲ議長ハ議場ニ申シ置ク積デア
ル、マダ海軍大臣ハ御意見ガアリマス

○海軍大臣(子爵樺山資紀君) 別ニアリマセヌ、豫算ニ就イテ皆サンノ御質
問ガアリマスナラバ飽マデモ……

○杉田定一君(百五十番) 議長、私ハ是非共海軍大臣ニ質問致シタイ

○議長(中島信行君) 海軍大臣ニ質問ガアリマス……失敬極マル

○議長(中島信行君) 百五十番
(杉田定一君演壇ニ登ル)

○杉田定一君(百五十番) 唯今海軍大臣ハ彼をぼれをんガ兵カヲ以テ議場ヲ
壓倒スル如キ勢ヲ以テ、此議場ヲ壓倒セント欲スル演說ヲサレタ、併ナガ
ラ此不羈獨立神聖ナル議會ニ於テハ、決シテ壓倒セラル、者デナイ(菊池侃
二君 斯ル經安ナル演說ニ壓倒セラル、者ナシト呼ブ)抑テ此唯今海軍大臣
ハ唯今經常部ノ所デアリマスケレドモ、海軍大臣ハ臨時部ノ事ヲ述ベラレマ
シタ、夫ヲ諸君ハ默許セラレデ居リマシタ、又然ル以上ハ私ハ此臨時部ノ事
ニ就イテモ、辯明ヲ致サナケレバナラナイコトハ、是ハ議會ノ體面上致サナ
ケレバナラナイ、此事ハ御斷ヲ申シテ置キマス、且ツ又海軍大臣ハ上奏案ノ
事ヲ申サレマシタケレドモ、是ハ實ニ問題外ノ事デアアル、此辯駁ニ至リマシ
テハ、他日上奏案ノ議事ノ日ニ大ニ滿腔ノ赤心ヲ奮フテ論ジマセウト存ジマ
ス、依ッテ此上奏案ノ事ニ就イテノ海軍大臣ニ就イテノ辯駁ハ他日ニ譲リマ
ス

○海軍大臣ガ此海軍ノ經常部ニ於テ入費ヲ節減シ、又臨時部ニ於テ軍艦製造
費ヲ……軍艦新製費又製鋼所ヲ削除スルト云フコトハ、其趣意ガ分ラヌト云
フコトヲ述ベラレマシタガ、夫ハ常備艦ガ多イカラ減シタ、我常備艦ガ多イ
カラ、夫ヲ減シタト云フ様ナ趣意デ、豫算委員ガ減シタト云フ様ナ事ヲ云ハ
レマシタガ、併シ夫ハ極一部分ノ話デ、大體ヲ盡サヌモノデアアル、大體此我
我ハ日本ノ國民トシテ……大ニ海軍ヲ擴張スル所ノ論者デアリマス、併ナガ
ラ今日海軍省ノ不整理不整頓又安心ヲ置ク能ハザル所ノ海軍ニ向ッテハ、
我々ハ甘ジテ莫大ノ入用ヲ供給スルコトハ出來マセヌデゴザイマス今其不
整頓不經濟ノ事ヲ並ベ舉ゲテ申シマスガ、先ツ第一ニ即チ豫算委員會ニ於
テモ申シマシタ通、世界何レノ國モ聞キマシタノニ、此常備艦在役艦ナル
モノガ或ハ五分ノ三トカ、或ハ三分ノ一デアアル、平常アラユル軍艦ヲ悉ク
在役ニシテ置クト云フコトハアリマセヌ、アラユル軍艦ヲ今日皆平常使ッテ
居ルト云フコトハ、其維持經濟ニ堪ヘマセヌ、軍艦ハ早ク破損老朽シテ仕
舞ヒマス、故ニ五分ノ三カ、三分ノ一使ッテ、アトハ第一豫備第二豫備第
三豫備ニシテ置クコト、聞キマシタ、然ルニ我海軍省ニ於テハ三十四艘ノ
軍艦ガアリマス、其三十四艘ノ軍艦ノ中、二十八艘ト云フモノハ在役艦ニ
ナツテ居リマス、アトノ六艘ガ非役船ト云フ譯ニナツテ居リマス、先ツ其
大略、アラユル在役艦常備艦ニナツテ居リマス、斯ノ如クアラユル軍艦ヲ
平常々常備艦トシテ使ッテハ、實ニ其維持經濟……ナカノ經濟ニ堪ヘラレマ
セヌ、入費ニ堪ヘラレマセヌ、且ツ又夫ガ爲ニ軍艦ハ早ク破損致シテ仕
舞マス、是ガ即チ一ノ經濟ノ立チマセヌ所デアリマス、又海軍大臣ハ海軍省
ニ於テハ近年以來人員ヲ節減シ、大ニ其邊ノ整理ヲ立テラレタト申サレマシ
タガ、彼ノ今茲一ノ例ヲ舉ゲテ申シマスニ、海軍大學校デアリマス、海軍
大學校ハ生徒ヲ、二十四年度ノ始ニ、生徒ヲ十七人先ツ平均此位デアアル、十七
人ノ生徒ノ所ヘ持ッテ往ッテ、事務官ガ四十一人アル、現員數官ガ四十四人、定
員ハマダ多クナツテ居リマス、生徒一人ノ割合ガ二千四百圓程ニナツテ居ル、
實ニ是ハ世界各國無類飛切ノ學校デアアル、海軍ノ經濟ヲ整理シ、入費ヲ節減
シ、人員ヲ節シテアルト言ハレケレドモ、生徒十七人ニ事務官ガ四十一人
ハト云フコトハ、金ガアリ餘ルノデアラウト私ハ思ヒマス抑又是マデ軍艦ヲ
海軍デ、是マデ拵ラヘラレマシタ所ノ軍艦ハ、實ニドウモ非常ニ高價ナルモ
ノデアアル、我輩之ヲ聞クニ、大抵歐羅巴ニ於テハ普通一中等甲鐵艦ハ大抵一噸

八十四萬位デアルト云フコトヲ聞イテ居ル、然ルニ先ヅ六圓トシタ所デ、四百八十圓餘リニナル、一磅ガ六圓ヨリ高クハナリマセヌ、然ルニ夫ヨリモ數等下ツタ所ノ日本デ拵ヘタ所ノ軍艦ガ、高キハ一噸ニ附キ九百圓カラノ軍艦デアル、實ニ非常ナ高價ナルモノデアル、夫カラ又此併ナガラ夫ハ斯ウ言ハレルデアラウ、夫ハ歐羅巴普通ノ平均相場ハ大抵先ヅ左様デアラウガ、併ナガラ、歐羅巴ニ於テ拵ヘタノト、日本ヘ取ツテ歸ルノトハ、色々雜費ガ要ル、色々ノ諸雜費ガ要ルカラ、左様ニ高クナルト云ハレルデアラウ、併ナガラ諸雜費ヲ引キ去ツテモ、甚ダドウモ高イモノデアル、夫ト云フモノハ聞クニ、監督艦ナルモノヲ遣ル、監督スル者モ隨分可ナリデアラウガ、併ナガラ當初聞クニ、設計シタル所ノ軍艦ノ注文替ヲ度々致ス、其注文替ヲ致ス度毎ニ、軍艦ガ高クナルト云フ様ナ事、或ハ又傳ヘ聞ク、此軍艦ヲ注文スルノニ就イテ聞ク、併シハ當局者ニ聽ケバ、何モ海軍省ニ直接ノ關係ハナイ、先方ノ會社ト云フ、併シハ當局者ニ聽ケバ、何モ海軍省ニ直接ノ關係ハナイ、先方ニ高クナル、又迴航スルニ就イテ日本ヘ取ツテ歸ル、夫ハ經驗ノ爲ダト云ハレルケレドモ、併ナガラ歐羅巴カラ此方マデ來ルニ四十五日カ四十二日、其僅ノ日數デ、十分經驗カ出來ルトハ云ハレヌ、夫デ斯ヤウナル監督費ナリ迴航費ナリニ於テ十分經驗ヲ加ヘタラバ、節減ガ出來ルデアラウ、又例ヘバ、斯ヤウハ海軍省ニ直接ノ關係ハナイデアラウ、併ナガラ其邊ノ所ハ何モサウ云フ様ナモノガ間ニ這入ラナイ様ニ盡力ガ出來ナイデモナカラウト思フ、是ハ眞カ僞カ知ラヌケレドモ、是ハ風説ナレドモ、或人ガ歐羅巴ニ行カレマシタ時、其行カレタ時ニ、其人ニ附隨シテ已ラハ誰某ノ近族デアル、那方ノ方デ已レニ云々云々ト云フカシテ吳レヌカト云フコトヲ、向フノ會社ハ頼シタト云フコトヲ聞イテ居ルガ、實ニ表面デハ關係セヌト云フケレドモ、裏面ニ至ツテ左様ナル關係ガアツタナラバ、我々ハ安シセヌ譯合デアル先ヅ此日本デ、軍艦ノ甲ノ種類ト云フモノヲ十艘——十艘程——十一艘ノ平均ヲ取ツテ見マスト、私ハ今一々宙デ少しモ間違ヒノナイ様ニ……覺エテ居リマセヌガ、先ヅ五百圓餘ニナツテ居ル、隨分是ハドウモ高イモノデアリマス、一噸ガ五百圓幾ラデアリマス、五百七十四圓デアリマス、隨分是ハ高イモノデアアル、實ニ一等甲鐵艦、數等落チテ居ル所ノ甲鐵艦、斯様ナモノデアアル、甚ダ高價ナモノデアリマス、夫カラ又昨年ハ我々ハ實ニ此行政上ノ繁文褥禮——行政上ノ入費ト云フモノヲ大ニ減シナケレバナラヌ、併ナガラ假令我々ハ政府ニ反對スルモ、此外敵國ノ侮ヲ禦ガナケレバナラヌ、我々ハ外敵國ノ侮ヲ禦クコトハ日本臣民ノ義務デアル、故ニ假令外ノ入費ヲ減シマシテモ、海軍ヲ擴張スルニ至リマシタ、夫デ本年ニナツテ段々取調ヲシテ見マスト云フコト、昨年ノ彼五百何万ト云フ……六千何百噸ヲ作ル入費ハ、實ニ高イモノデアアルコトヲ發見致シマシタ、夫ト云フモノハ、大抵一噸ハ七百何十圓ノ價ニナツテ居リマス、實ニ非常ナ高價ノモノデアリマス、我々ハ殘念ナル哉、其時分ニ於テ其邊ノ事情ニ明ナラザルヨリシテ、實ニ唯海軍擴張ニ熱心ナルヨリ、海軍ニ斯様ナ不整理ガナイト思フタカラ贊成致シマシタ、然ル處斯様ナ高價ナモノデアアル、今其證左ヲ舉ゲテ昨年五百何万デアツタカ、我々ハ六千七百五十噸ノ軍艦ヲ拵ヘルコトヲ協賛致シマシタ、然ニ今年ノ豫算ハ五百噸増加スルト

云フコトガ、本年ノ豫算ニ載ツテ居リマス、諸君ハ御覽デアリマセウ、實ニ五百萬圓デ六千七百五十噸ノ軍艦ヨリ出來ナイモノデアアル、然ルニ本年ハ五百噸ヲ増シテ來タト云フハ、海軍省デハ已ラハ是丈働イタト云フダラウガ、決シテサウデハナイ、即チ夫丈五百噸ヲ増シタト云フハ、昨年掛直ガアツタニ違ヒナイ掛直ガアツタカラ左様ニ増シタノデアアル、斯様ナ事ガ——斯クノ如ク日本デ是迄拵ヘタ所ノ軍艦ト云フモノハ、隨分高イモノデアアル、又彼ノ現在アラユル軍艦ト云フモノガ、現役艦ニシテ置クタメ維持經濟ニ耐ヘラレヌ、早ク破損老朽シテ仕舞フ、又サウ云フ昨年ノ現ニ豫算ノ如キハ、非常ナ高價ナモノデアアル、斯様ナ譯柄ニ依ツテ我々ハドウシテモ今日海軍省ニ安心シテ、此軍艦新製費ヲ協賛スルコトガ出來ナイ、故ニ十分我々ニ安心ヲ與ヘテ呉レナケレバ、ドウシテモ海軍ノ要求ニ應ズルコトガ出來ナイ、夫カラ此製鋼所ノ事デアル、製鋼所ノコトニ就イテハ、海軍大臣ガ第五科ニ臨マレテ又先ニモ略シ言ハレマシタ通、實ニ此製鋼所ノ事ニ就イテハ釜石ニ於テノ失敗モアリ、是ハ實ニ重大ノ事デアル、故ニ中ニ海軍省一省デ引受ケルト云フテモ、之ヲ引受ケル事ヲ請合フ譯ニハ行カヌ、内閣全體ヲ出シテ、取調ベタテ吳レナケレバナラヌト云フコトニナツタ、夫デ海軍省ニヤレト云フコトニナツタ、併ナガラ海軍省ニハ十分ノ技術家モナシ、逆モ是ハ請合ハレヌト云フテ、幾度カ辭退ヲシタガタウ、海軍省ニ願ンデ來テ、引受ケナケレバナラヌト云フ様ニナツタ、是ハ誠ニ困ルガ、併ナガラ兵器ノ獨立ト云フ事ニナツテ來タト云フコトヲ言ハレマシタ、一體此何ト云フモノハ、内閣全體ノ責任デアアル、實ニ至難デアル、民間デモ失敗シタカラ、民間デヤレト云フ所ガ、ヤラヌト謝絶シタ、一體ノ何ト云フモノハ、極兵器ヲシテ固イ様ナ何シデナシ、唯此戰々競々トシタ極危イ様ナ事業ノ一體ノ説明方デアアル、此聯帶責任デナケレバ、引受ケルコトハ、出來マセヌト云フテ、タウ、海軍省デヤレト云フテ、タウ、夫ヲ此議會ニタウ、頼バシテ來テ、其不安心ノモノヲ今日議會デ協賛スルコト云フコトハ出來マセヌ、第一此製鋼所ノ主眼タルヤ此兵器ノ獨立ヲ保ツト云フコトガ主眼デアアル、然ニ原料ト云フモノハ、日本ニハ其鐵ノ原料ハ日本ニアルカト云ヘバ今現在使用ラシテ居ル外ニ、其原料ト云フモノハ海陸軍デ使フ丈ノ原料ハ目下ナイ、併ナガラ隨分將來ナイデハナイ、ナイデハナイト云フ所ノ土中カラ出ヌデハナイト云フ見込デアアル、依ツテ原料ハ目下矢張外國カラ買ハナケレバナラヌト云フ說デアアル、元來此事タルヤ兵器ノ獨立ヲ保ツト云フコトガ主眼デアアル、先ヅ經濟ト云フヨリモ……然ルニ此兵器ノ獨立ヲ保ツ原料ヲ外國カラ原料ヲ買フト云フハ、矢張兵器ノ獨立ト云フコトハ出來ヌノデアアル、矢張自家撞著ノ論デアアル、故ニ此邊ノ即チ製鋼所ヲ贊成スルコトハ出來ナイ、協賛スルコトガ出來ナイ主意デアアル、斯様ナル譯合デ、我々ハ何ウモ此海軍省ノ不整理不整頓ニ依ツテ、何ウシテモ安心シテ信用ヲ置クコトガ出來ナイ、故ニ協賛スルコトガ出來ナイ、是ガ即チ此度軍艦新製費ヲ削減シ、製鋼所ヲ削減シタル所ノ先ヅ大體ノ主意デアアル、又茲ニ一ツ一例ヲ按ジマス、常備艦ノ中デ今アラユル軍艦ヲ殆ド皆常役艦ニシテ置クト云フコトハ、今申シタカラ御分リニナツタデアリマセウガ、此常備艦ト非役艦ハ用ノナイ留守番ノ様ナ船デアアル、其留守番唯留守ヲシ

テ居ル所ノ艦デアル、其艦ト常備艦ト一緒ノ需要物品ヲ給與シテ居ル、夫ハ例テ申セバ、扶桑ト浪速デアル、同シ噸數ノ様ナモノデアルガ、一方ハ非役一方ハ常役船ニナツテ居ル、矢張水雷艇其外モ同シ様ニ積ツテ居ル、非役モ常備モ同シ様ニシテアルト云フコトハ、此等モ一ツノ例デアル、此等モ一ノ不經濟ノ點デアル、斯様ナコトハ海軍ノ不整理不經濟ヲ列ベ立テレバ、實ニ枚舉ニ違ガナイ、併ナガラ之ヲ一々申シマスレバ、貴重ナル豫算會議ノ時間ヲ……餘リ長クナリマスカラ、申シマスガ實ニ我ハ海軍擴張ハ大ニ熱心ナ者デアル、實ニ熱心ナ者デアルガ、併ナガラ斯ノ如キ不整理不整頓ノ海軍省ニ向ツテ、今日我ハ甘シテ莫大ノ金ヲ出スコトハ出來ヌ、國家ノタメ人民ノタメ決シテ出來ナイ、故ニ願クハ早ク海軍當局大臣ハ己ヲ責メ、用ヲ節シ、不整理不整頓ヲ整理シテ、我ニ充分ノ安心ヲ與ヘラレテ、我ハ平生希望スル所ノ海軍擴張ノ位置ニ達セシムルニ至ラシメルコトヲ希望致ス譯合デアリマス

○海軍大臣子爵樺山資紀君演壇ニ登ル

○海軍大臣(子爵樺山資紀君) 今杉田定一君カラ御質問ノ様デゴザイマスガ(質問シヤナイト呼ブ者アリ) 大學校ノ生徒ヲバ大變高ク付クチウ話デゴザイマスガ、私ノチヨット上奏案ノ御趣意ヲ見マスルト云フト、金ノ事ヨリハ成ルベク(上奏案デヤナイト呼ブ者アリ) 精練ヲ主トシテ行クノデゴザイマスカラ、成ルベク其費用ハ係ツテモ、生徒ノ精練ヲ旨トスルト云フトコトガ必要デアリシヤラウト考ヘマス、所デ現今大學校ハ教官ガ多クテ生徒ガ少イト云フ、成程サウデゴザイマセウ、マダ大學校ハ漸ク二十一年ニ創立シマシテ、今日ハ程度ノ生徒ヲ養ハヌノデアリマス、程度ハ五十名デアリマス、未ダ程度中デアルノデス、夫ニ現行ノ事ヲ以テ、將來ノ事ヲ御話下サル様ナコトガ有ツテハ、當局大臣ガ少シ困ル事ガアルデヤラウト思ヒマス、去ナガラ成ルベク費用ヲ節シテ、生徒ニ十分ナル教育ヲ施サネバナラヌト云フハ、本大臣ノ至極希望シテ居ル點デアルノデアアル、夫デ現今ノ所ハ生徒モ少數デアリマス、ケレドモ追々此將校ヲ五十名マデ入校サセテ、高等ナル教育ヲ與ヘルト云フノガ海軍ノ眼目デアル、夫ヲ此大學校ノ其課業ト云フモノハ、甲乙丙ト三ツアルノデス、夫ニ依ツテ本日水雷ナリ砲術ナリ機關ナリ、皆高等ナル教育ヲ授ケル様ニシテアルノデス、夫ハ現今ノ所ヲ以テ只管御見解下サルト云フト、此方ノ將來ノ、其程度ヲ御考ヘ下サルコトヲ希望スル、夫カラ始終世間デ噂ガアル様デス、軍艦ガ高イ、軍艦ガ高イチウ話ダカ、成程其今日英吉利ノ軍艦ト日本ノ軍艦ト比較シテ見ルト云フト、例ヘバ一等ノ甲鐵艦デアル、之ニ甲鐵ガマ一十四吋十八吋位ノ甲鐵デアツタト見テ、大抵一噸五百圓位出來ル、夫ヲ日本デ積ツタノハ一噸七百圓ニ積ツテアル成程高イ、五百圓ト七百圓ト二百圓高イ、所デ英吉利ノ一體積リト云フモノハ、事ニ依ルト云フト、兵器ガ省イテアル、或ハ今ノ監督費ヤ何カ省イテアル、日本ノ一體注文スル軍艦ト云フモノハ、皆此雜費ヲ籠メテアル、兵器モ入ツチヨル、其他一切監督費モ入ツチヨル所デヤス、決シテ私共モ船ノ高イモノヲ注文スルト云フコトハ、好ミハシマセヌ、ドコ迄モ安イモノヲ注文シテ、サウシテ堅牢ナル駛速ナル船ヲ買フガ、コッチノ目的デアルケレドモ、如何セン四五千里隔テタ處ニ注文スルト云フコトニナリマスト云フト、先ツ瑣末ナ事ヲ申シマスト云フト、電信ノ費用ナリ、郵便ノ費用ナリ、又監督ノ費用ナリ

色ノ雜駁ナ費用ニ大變費ヤス、夫ハ何デモ外國ニ注文サレタラ、皆サンガ分ルデアリマセウ、夫ヲ英吉利デ買フ軍艦ト日本デ買フノトハ、餘程違フ、夫カラ從ツテ四五千里ノ航海費ガ要ル、是ガマ一抵向フノ會社デ、大抵ノ船ヲ廻送スルト、十五六萬圓デ行ケル、コチカラ船員ヲ出シテ廻送シマスト云フト、大抵十八九萬圓ニナル、夫デ色々ト其今ノ雜費ガ掛ツテ、遂ニ一噸ニ附イテ七百圓ト云フモノガ生レテ來ル、ソコデ此一噸ニ附イテ七百圓ト云フモノモデス、之ガ其充分ニ見テ皆アルノデアアル、大方先ヅ五割四割位ヲ見テアル、サウセナイト云フト、今此軍艦ノ事ト云ヒ、兵器ノ事ト云ヒ、御承知ノ通り進ノ際デアル、船ヲ三年掛ツテ造ルト、三年ノ中ニ色色ナ變態ヲ生ジテ來ル、兵器ノ今ハ斯ウデアアルガ、斯ウ云フ製造ニ仕直サケレバナラヌ、斯ウ云フ製造デアアルガ、斯ウ云フコトニセナケレバナラヌ製造上順々ニ一年ナリ二年ナリ仕事ガ進ンデ來ル、到頭已ムヲ得ズ夫ニ依ツテ改造セナケレバナラヌコトガアル、夫デサウ云フ様ナ臨時ノ費用ガ入ルカラシテ、猶豫ヲ見テ、六百圓ノモノヲ六百五十圓トカ、七百圓トカ斯ウ云フ様ニ根ツカラ積ツテアル、ソコヲ能ク御考ヘ下サレ、夫デ海軍部内ニ於テモ其論ハアルデス、ドウモ英吉利ノ船ト日本ノ船ト比較ヲ取ツテ見ルト高イト云フ、重ニ此海軍參謀部ト云フモノハ、全ク經濟ノ事ニ關セズシテ、軍事ノ事ヲ司ツテ居ル、ソコデ始終趣意書ヲ——計畫ヲ出スコト、海軍省ノ第二局ガ造船ノ主務デアアル、ソコニ廻ハスト、ソコデ大變高イ積リデアルト云ツテ、ドウシテモコチラガ計畫シタ思過リノモノガ出來ヌト、斯ウ云フ様ナ事デ、始終衝突シテ居ル、夫ヲ能ク調ベシテ見ルト、今ノ様ナコトカラシテ高クナルノデス、夫ハモウドウシテモ其事ニ附イテハ、當局者モ餘程注意シテ遣ツテ居マスルガ、船モ船ニ依ツテ安イ船モアルデス、一噸三百圓カ四百圓ノ船モアル、ドウシテモ今日此一番高イ船ト云フモノハ、巡洋艦ト「どるペ」モ「きやちや」ト云フ水雷艦ガ一番高イ——ナゼ高イカト云フト、船ヲ速クシナケレバナラヌ、其タメニ大變高クナル、細イ船ト云ツテモ一噸七百圓カ六百圓スル、決シテ船ノ大小ニハ關係シナイ、船ノ構造ニ關係スル——船ノ性質ニ關係スル、夫ヲ一概ニアナタ方ガ御考ヘ下サレテハ、時トシテハ齟齬スルコトガアルダラウ、夫カラ今又製鋼所ノコトモ御質問ガゴザイマシタガ、是ハ先刻飽迄皆サンニ申シテ置キマシタカラ、別段ニ申シマセヌガ、夫丈ノコトハ先アリマスガ

○杉田定一君(百五十番)

今海軍大臣ノ申サル、ニハ、將來海軍大學校ニハ五十八人ヲ入レル見込デアルト、斯ウ云フコトデゴザイマシタ、夫デ事務官ガ斯ノ如ク多イト云フ御話デゴザイマシタガ、夫ハ生徒ガ多クナツタラ、多クナツタ必要ニ應ジテヤルガ宜シイ、近來——二三年ノ統計ヲ見マスルト、生徒ガ僅十六人カ十七人デアアル、ソコハ教官ガ四十一人アルト云フノハ實ニ不經濟デハ八人カ十七人モセカ、又軍艦ノ御話ノ如キハ、歐羅巴デ拵ヘル船ハ船體兵器彈藥モアルノデアアル、其中ニ雜費ガ這入ツテ居ナイ、日本ノハ雜費ガ這入ツテ居ルカラ高クナル、斯ウ云フ御話デゴザイマシタ、其處ハ私ガ分ケテ申シタ答——甚ダ高イ、併ナガラ日本ノ軍艦ハ歐羅巴ノ軍艦ト違フデ——歐羅巴デ拵ヘルノトハ違フテ、日本ハ運漕スル所ノ入費等モアル、又監督ノ入費等モアルカラ、夫デ歐羅巴ノ國デ歐羅巴ノ軍艦ヲ拵ヘルヨリ高クナル、併ナガラ其監督費又其廻航費ヲ除イテ仕舞ツテ、其船體機關兵器彈藥

許ニシテモ、歐羅巴ノ直段ヨリ甚ダ高クナルト云フコトヲ分ケテ申シタノデアリマス、ソコハ混雜シテ私ハ申サナカッタ
○海軍大臣(子爵樺山資紀君) 今ノ監督實費ヲ除イテナカッタコトハ、一ツ能ク尙ホ巨細ニ取調ベテ御覽ニ入レル様ニ致シマス——私ガ茲デ御話シタヨリ、主務局デ能ク取調ベテ、書面ヲ以テ取調ベテ上グル方ガ能ク御分リニナリマセウ

○杉田定一君(百五十番) 私モ段々海軍省ノ人カラ取調ベテ居リマス——段段其邊ノ所ハ調ベテ居リマス

○海軍大臣(子爵樺山資紀君) 宜シウゴザイマス、尙ホ取調ベテ見マス

○角田眞平君(二百四十一番) 此處デ宜シウゴザイマス

○議長(中島信行君) 宜シイ

○角田眞平君(二百四十一番) 海軍大臣ノ演說ノ中ニ、私ノ承ツテ置キタイコトガアリマス、元來我々ハ此基本ト云フモノガ違フト云フト、考ガ直ダ違ッテ來ル、夫故ニ基本ガ違ッテ居ルカ、居ラヌカト云フコトハ極大切デアル、海軍大臣ノ演說ノ中ニ、確ニ簡潔言ハレタカラ小生ハ念ヲ推シテ置ク——諸君ガ薩長ノ藩閥デアルト云フ今ノ内閣——併ナガラ今日日本帝國ノ四千萬人民ガ此安全ヲ保護シテ居ルハ、何人ノ御蔭デアルカト論シタ、其故ニ海軍大臣ノ考ハ、小生ハ簡潔ニ斷定シテ宜シイ——即チ今我々ガ安全ニ居ルハ、薩長ニ藩ノ御蔭デアラウカト云フ——斯ウ云フ御演說ノ主意ニ承知シテ宜シイカ、將タ然ラザレバサウデナイト云フコトヲ仰セラレバ宜シイ、唯今ノ演說ニ附イテハ、簡潔ニ小生ハ決定シテ宜シイ——問ヲ起シテ答ヲ爲サスシテ、演說ヲ終ラレタカラ、一言聽イテ置ク——小生ハ今ノ様ニ了解シテ宜シウゴザイマス

○海軍大臣(子爵樺山資紀君) 今二百四十一番ノ御方ガ、私ノ演說ニ附イテ御質問ガゴザイマシタガ、薩長政府トカ云フ様ナ御話シタガ、夫ハ即チ此維新ノ際カラ内外多難ノ困難ヲ切り抜ケテ、今日迄迄來タト云フモノハ、薩長内閣ト云フ様ナ如キモノデアルト云フ私ノ主意デアッタノデゴザイマス——斯ウ云フ主意デゴザイマス、夫丈ノコトヲ申シマス

(速記録ヲ見ルガ宜シイト呼ブ者アリ)

○島田三郎君(五十八番) 唯今ノ海軍大臣ノ演說ハ議會ニモ關係ガアリ皇陛下ニモ關係ガアリマスカラ、質問シタイ

(中村彌六君演壇ニ登ル)

○中村彌六君(百六十番) 本員ハ海軍大臣ノ演說ニ附イテ一應質問シナケレバナラヌ、ナゼト云フニ此處デ海軍大臣ガ演說サレタノハ、果シテ是ガ本統デアアルカ、虛デアアルカト云フコトノ判定ニ苦シム、ナゼト云フニハ委員會ニ來テ饒舌シタ言ト違ッテ居リマス——宜シイカ——今茲デ云フニハ、如何ニモ製鋼所ト云フモノハ出來ルカノ様ニ言ッテ居ル、私ハ諸君ノ疑ヲ晴ラヌタメニ、豫算委員會ノ速記録ヲ讀ンデ御目ニ掛ケル——前ニ段々海軍大臣ノ言ッタルコトガアツテ、速記録ノ三號ノ二枚目デアアル、止ムヲ得ナイカラ朗讀致シマスガ——其前ニ斯ウ云フコトヲ想像シテ置カナケレバナラヌ、此製鋼所ハ御前セレサレ御前ヤレト云フテ内閣デ押シタラヌ曉ノ話デゴザイマス、夫丈ノ想像ヲナスツテ御聽キ下サイ

今度ハ主務省ノコトデスガ是ガ餘程面倒デス先ヅ海軍デ八九分ハ必要ノモ
ノデアアルカラ八九分通運動シテヤルガ宜シイト云フ考ガ多イノデス所デ私ニ取リマシテハ實ニ困却シタノデアアル、御案内ノ通今日ノ海軍省ハ新設ノ事業ガ多クテ艦船ヲ造ルコトダノ種々工事ガ多端デス到底私ノ方デカウ云フ事マデモ拵ヘテヤルト云フコトガ誠ニ困難ノ話デアリマス意氣地モナイコトデスガ到底力ノ及バヌ仕事デス
宜シウゴザイマスカ出來ヌト云フコトデス——此處ヲ意ヲ留メテ下サイ
何トナレバ材料カラ拵ヘテ鐵ヲ造ランケレバナラヌト云フト私ノ責任ヲ保ツ事ガ出來ナイト云フコトヲ抗辯シテ居リマス
是デ見ルト本員モ此豫算委員デアアル——此速記ヲ見テ誰ガ斯ナモノヲ贊成シマセウ、責任ヲ帶ビテハ出來ナイト云フモノヲ——宜シイカ——海軍大臣ハ製鋼所ヲ押シ附ケラレタカラ仕方ナクヤルト云フ、是ガ唯デ出來ルモノナラバ、贊成ヲシテヤリマセウガ、併ナガラ二百二十五萬圓ト云フ大金ハ人民ノ膏血ヲ絞ツテ來タモノデアアル、一人一己ノ責任ヲ立テ、顔ヲ立テ、遣ルト云フ様ナコトヲ、此國民ノ代表者タル者ガ致ス者ハ一人モナイ、故ニ多數ヲ以テ之ヲ否決シタノデアアル、果シテ然ラバ則チ何ヲ苦シンデ海軍大臣ハ此處デ左様ナルコトヲ言ハレルカ、委員會デアハ出來ナイト云ヒ此所デハ拵ヘルト云フ、私ハ敢テ政府委員モ大臣モ成丈澤山出テ居ル所デ申シタイ、ドウカ國家ノ事ヲ議スル時ニ於テハ、二枚ノ舌ヲ使ハヌ様ニシテ貫ヒタイト云フコトヲ申ス

○島田三郎君(五十八番) 發議ノ許可ヲ請ヒマス、質問ノ要領ハ既ニ角田君ノ質問ニ答ヘラレタ所デ決定シテ居ルト思フ、海軍大臣ノ演說ニ對シテ、私ハ議會ニ於テノ演說ハ正當デナイト云フノ否決ヲ爲シタイト云フコトノ發議ヲシマスカラ……

○議長(中島信行君) 宜シイ

(島田三郎君演壇ニ登ル)

○島田三郎君(五十八番) 諸君、今日ノ海軍大臣ノ演說ハ開會以來大臣ガ是非ヲ議會ト爭フト云フノ決心ヲ以テ演說セラレタモノト思ヒマス、夫故ニ此事タルヤ徒ニ理由ナクシテ否決スルト云フコトガアツテハ、議會ノ面目ニ關スルコトデアアル、故ニ利害ノ點ヨリ確ニ否決スベキ理由ヲ明瞭ニシテ、天下ニ鳴ラスノハ議會ノ當然ノ職分デアルト思ヒマス、本員ノ考ヘル所ニ依リマスト、實ニ唯今ノ海軍省ニ信ヲ置クコトガ出來ナイ、大凡ソ將來ノ事ニ信ヲ置クコトノ出來ナイハ、既往ノ事ニ遡ッテ證據立テルノガ當リ前ノコトデアルト、本員ハ考ヘマス(然リ)ト呼ブ者アリ——海軍省ガ擴張ヲ說クヤ、敢テ今日ニ始マッタノデハナリ、明治十四年國會ノ開期ガ定マレタ後ニ、軍備擴張ノ論ガ盛ニシテ、十五年ノ頃ニ海軍ノ費用ヲ増シタモノデアアルノデアル、而シテ最モ著シキモノハ何物デアアルカト云フニ、明治十一年度ニ方ツテ、二千七百萬圓ノ臨時ノ費用ヲ明治二十三年度迄ニ募ルト云フコトノ閣議ノ決シタノハ、天下ノ共ニ知ル所デアアル、現在ノ内閣總理大臣ガ大藏大臣專任ニ就イテ著シク認ムベキモノハ、此海軍ノ擴張デアリマス、此擴張ノ爲ニ二千七百萬圓ヲ八箇年ノ間即チ明治二十三年度迄ニ使フト云フコトノ爲ニ、之ヲ閣議ニ出シテ決シタト云フ事實ガ載ッテ居リマス、是ハ抑、何デアアルカ、明治

二十三年ニハ國會が開ケルニ依ッテ、其以前ニ新ニ募ル所ノ金ハ募リ、新ニ始ムベキ所ノ仕事ハ遣リ、斯様ニシテ二十三年ノ國會ヲ開イテ、政府ガ議會ニ對スル丈ノ仕事ヲ見セヤウト云フ考デアッタラウト、本員ハ推測致スノデア
ル、否ラズンバ何故ニ二十三年度迄ニ此大金ヲ支出シタノデアアルカ、然ラバ此時ノ政府ノ決心ハ二千七百萬圓ヲ以テ、外ニ向ッテ我國ノ海軍ノ對面ヲ保ツコトモシナケレバナラヌト云フ責任ヲ負フテ居タノデアラウ、負ハナケレバナラナイ事實デアアルト本員ハ考ヘマス、然ルニ第一期ノ國會ヲ開ク時ニ、海軍大臣ハ何ト云ハレテ居ルカ、數年後ニハ若干ノ噸數ガ減ッテ、連モ本大臣ハ其責ヲ盡スコトハ出來ナイト第一期ノ議會ニ於テ言ハレタノハ、抑、此八箇年間に計畫シタル所ノモノハ、恰モ烟ノ如ク消ユエ仕舞ッタ證據デハナイカト思フ、二千五百万圓ハ決シテ我國ニ輕カラザルモノデアアル、況ヤ屢變ハル……初ニ當ッテハ、二十三年度迄二年々ニ當リ前ノ租稅カラ出スト云フコトガ極ッタノニ、僅カ二年ヲ過ギザルニ、明治十八年度ニ至ッテハ、當リ前ノ租稅ヨリ支出スルコトガ出來ヌト云フコトニナッテ海軍公債ト云フモノガ新ニ出タノデアリマス、國會ガ開ケズ、租稅ヲ議スルノ權ノナキ中ハ、我々ハ之ニ向ッテ一言モ發スルコトハ出來ナイ、假令公債ヲ募ラレテモ仕方ガナイ、併ナガラ海軍大臣ハ明治以來アレ丈ノ仕事ヲ遣ッタノハ、薩長内閣ノ功デアアルト言ハレ、バ、我々ハ斯ノ如キコトヲ遣ッタノハ蓋シ薩長内閣ノ過デアアルト明言スルヲ憚カラヌノデアアル、海軍大臣ガ議會ニ向ッテ爭ヲ挑メバ、此議會ハ決シテ開逃スコトハ出來ナイト思フ、而シテ十八年度ニ至ッテ海軍公債ヲ募ッタコトモ亦已ムヲ得ナイト、寛大ノ評ヲ下シテ見タ所ガ、一タヒハ繼續費トシテ經常ノ租稅ヨリシテ二千五百万圓ヲ支出シテ、二十三年度迄ニ稍見ルベキモノヲ拵ヘ出シテ、國會ニ示スト云フノ決心ハ此時ニ於テ既ニ狂ッテ居ル、僅ニ二年ニシテ之ヲ經常ノ費用ヨリ出スコトガ出來ズシテ、我々ガ未來ニ於テ其負擔ヲ重クシテ居ルノデアアル、夫モ亦仕方ガナイ、我々國會未ダ開ケズ、政府ニ向ッテ我々ガ之ヲ拒ムコトモ出來ヌノデアアルカラ、明治二十三年迄ニ斯様ニシテ租稅ヨリ取リ、斯様ニシテ公債ヲ募ッタル所ノ出來榮ヲ、海軍大臣ガ第一期ノ議會ニ向ッテ報告セラレタナラバ、我々ハ其手段ノ如何ヲ問ハズ、其開議ノ俄ニ變ジタルヲ問ハズ、先ヅ出來榮ガ善カッタト云フ評論ヲ下スデゴザイマセウ、去リナガラ前ニ述ベタル如ク、第一期ノ議會ニ於テハ見ルベキノ海軍アリト云フ能ハザルノミナラズ、尙ホ其費用ヲ募ッテ貰ハナケレバ、未來ニ當局大臣ハ其責ヲ盡スコトハ出來ナイト公言セラレルノハ、實ニ既往ノ責ハ何處ニ歸セラル、積リデアアルカ、實ニ怪シムベキ發言デアアルト云ハナケレバナラナイ、斯ノ如キ始末ニアリナガラ、未來ノ海軍擴張ノ上ニ就イテハ信ゼヨ、未來ノ支出ニ向ッテハ承諾ヲセヨト云フナレバ、我々ハ承諾スルコトハ出來ヌ、ト簡單ニ答ヘルヨリ外ハ致方ハナイ、又此ノ如キ必要ガアルナラバ、第一期ノ議會ニ於テ必要ガアルガタメニ、是丈ノ金ヲ出サセナケレバナラナイト云フノ決心ヲセラレナカッタノデアアルカ、畢竟スルニ是迄ノ餘弊ニ慣レテ、金ガアレバ新ニ事務ヲ考ヘルト云フ所ノ流弊ガ唯今モアルト思フ、即チ第一期ノ議會ニ於テ議決ノ結果トシテ、六百五十萬圓ヲ得レバ、則チ政府ハ懷金ガ出來タカラ、新事業ヲ考ヘタト、我々ハ考ヘルノデアアル、是モ強テ不當ノ推測ニアラズト信ジテ居ルノデアアル(拍手大ニ起リ然リクト呼ブ者アリ)凡ソ前ニ費用ヲ置イテ、後ニ考ヘタ

モノニ、精密ナル調べト云フモノハ六ケシイノデアアル、即チ前ノ二千七百萬圓ノ金ヲ募ル議ヲ變ジテ、十八年度ニ公債ヲ募ッタ、然ルニ二十三年ニ至ル迄更ニ其功ノナカッタト同ジ轍ヲ既往ニ蹈デ居ルデハゴザイマセヌカ、凡ソ必要デアアルト云フコトナラバ、國民ノ負擔シ得ベキ丈ノモノナラバ、其熱心ニ至ッテハ我々決シテ現内閣ノ人ニ譲ラヌト思ヒマス、斯様ニ考ヘテ居リマス、然ルニ其基礎ヲ立デズ、計畫ヲ詳ニセズシテ、直ニ稅源ヲ與ヘヨ、直ニ費用ヲ給セヨト云フニ至ッテハ、是レ恰モ底ナキノ器ニ水ヲ注グヨト請求スルモノデアアル、斯ノ如キ要求ヲ我々ハ決シテ容レルコトハ出來ナイ、夫ニハ第一ニ責任ヲ負フテ出ラレルガ宜シイ、次ニハ確トシタル計畫ヲ立テ、然ル後ニ器ニ水ヲ注グヨト命ゼラル、ガ宜シイ、現ニ豫算委員ノ中村君ガ言ハレルニハ、海軍大臣ガ責ヲ互ニ譲リ合フタト云フ一事ガアッタト云ハレル、此一事ニ於テモ我々ハ未來ニ左様ナル信用ヲ置イテ此繼續費ヲ支出スルコトハ出來ナイ、此方ヨリ拒ムニアラズ、拒マシムル所ノ手段ヲ内閣大臣ハ取ッタモノデアアルト思フ

終リニ臨デ是非トモ明瞭ニシテ置カナケレバナラヌト云フノハ二十三年ニ至ッテ國會ヲ開キ、二十四年ノ今日ニ至ルノハ、薩長内閣ノ功デアアルト云フノハ、天皇陛下ニ對シテ禮ヲ失ッタモノデアラウト思フノデアアル、本員ノ信ズル所ニ依リマスレバ、明治元年ノ改革ヨリ今日ノ有リ難キ時世ニ至ッタノハ、神聖ナル御聖德ニ因ルト人民ガ記憶シナケレバナラナイ、故ニ薩長内閣ガ禮ヲ失ハザラントスレバ、聖明上ニ在ルニ依ッテ、日本ハ開明ニ赴キタルコト、堅ク信ズルコト、天皇陛下ニ對スル禮デアアルベキニ、何ゾヤ此議會ニ向ッテ薩長内閣ノ功デアアルト明言サル、ニ至ッテハ、確ニ此事ヲ議事録ニ止メテ置カナケレバナラヌ、左様ナ心底ヲ持ッテ居ラル、ナラバ、我々ハ益内閣ヲ信用スルコトハ出來ヌト云フコトヲ言ハナケレバナラナイト思フ

○議長(中島信行君) 諸君ニ申シマス、本日ノ議會ハ隨分開會以來ノ一大波瀾ヲ生ジタ場合デアッタガ唯今ノ島田君ノ演說ヲ以テ本日ノ議場ヲ納メ様ト思ヒマス、明日ノ議事日程ヲ報道シマス

豫算案 午後四時五十三分散會

衆議院速記第十九號正誤

頁 段 三一三 上 一八行ノ次(坪田繁君演壇ニ登ル)ヲ加フ

